

「100年後もあなたのベストパートナー」でありたい。

私たちは、「財産」と「未来」を守る総合財産コンサルティング会社です。

2023年12月期 第3四半期

決算説明資料

証券コード：8929



株式会社 青山財産ネットワークス
Aoyama Zaisan Networks Company, Limited

2023年11月14日

1 通期業績予想の修正について

2 2023年12月期第3四半期 業績報告

3 株主還元方針

4 Appendix



Section 1

通期業績予想の修正について

通期業績予想の修正について

・第4四半期偏重となったものの、各段階利益は過去最高の利益を上回る蓋然性を確保。

・財産コンサルティング

75億円から70億円へ修正するものの過去最高を更新する蓋然性を確保。なお、利益率の高い財産承継は約40億円で前年（29.7億円）を大幅に上回る見込み。

・不動産取引

ADVANTAGE CLUB325億円組成の計画に対して、ADVANTAGE CLUBおよびSTOの合計組成額は約290億円の見込み。なお、新規のADVANTAGE CLUBを年内に募集開始予定（売上計上は翌期の見込み）

単位：百万円	当初予想	修正予想	増減率	(参考) 前期実績 (2022年度)
売上高	39,500	37,400	▲5.3%	35,952
財産コンサルティング	7,500	7,000	▲6.7%	6,204
不動産取引	32,000	30,400	▲5.0%	29,747
営業利益	3,300	3,300	-	2,629
経常利益	3,050	3,370	10.5%	2,499
当期純利益	1,980	2,040	3.0%	1,694

Section 2

2023年12月期第3四半期 業績報告

- 連結業績ハイライト
- 実態PL～純額方式採用の場合～
- 営業利益の増減内訳
- 区分別の売上総利益
- 財産コンサルティング売上の推移
- 売上高の区分別業績
- BSハイライト

連結業績ハイライト

- ・売上高は財産コンサルティングの売上が増加したもののADVANTAGE CLUB等の組成額が前年を下回り不動産取引の売上が減少したため、前年同期比で売上が減少
- ・上記の要因があったものの、財産コンサルティングの売上、とりわけ財産承継の売上が前年同期を大幅に上回ったことから営業利益、経常利益、純利益は前年同期を上回り着地

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減率	修正後通期 業績予想	修正後業績予想に 対する進捗率
売上高	28,033	25,699	▲8.3%	37,400	68.7%
財産コンサルティング	4,393	4,588	4.4%	7,000	65.5%
不動産取引	23,640	21,111	▲10.7%	30,400	69.4%
売上原価	24,058	21,603	▲10.2%	-	-
売上総利益	3,975	4,096	3.0%	-	-
売上総利益率	14.2%	15.9%	-	-	-
販売費及び一般管理費	2,309	2,274	▲1.5%	-	-
営業利益	1,665	1,821	9.4%	3,300	55.2%
営業利益率	5.9%	7.1%	-	-	-
経常利益	1,602	1,947	21.5%	3,370	57.8%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	1,064	1,267	19.1%	2,040	62.1%

連結業績の5ヶ年推移（第3四半期）

単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期
売上高	10,454	11,304	17,958	28,033	25,699
財産コンサルティング	3,818	4,129	4,106	4,393	4,588
不動産取引	6,636	7,174	13,852	23,640	21,111
売上原価	7,846	8,926	14,745	24,058	21,603
売上総利益	2,607	2,377	3,213	3,975	4,096
売上総利益率	24.9%	21.0%	17.9%	14.2%	15.9%
販売費及び一般管理費	1,773	1,641	1,811	2,309	2,274
営業利益	834	736	1,402	1,665	1,821
営業利益率	8.0%	6.5%	7.8%	5.9%	7.1%
経常利益	736	643	1,361	1,602	1,947
親会社株主に帰属する 四半期純利益	997	350	1,177	1,064	1,267

高い水準で実質営業利益率を維持

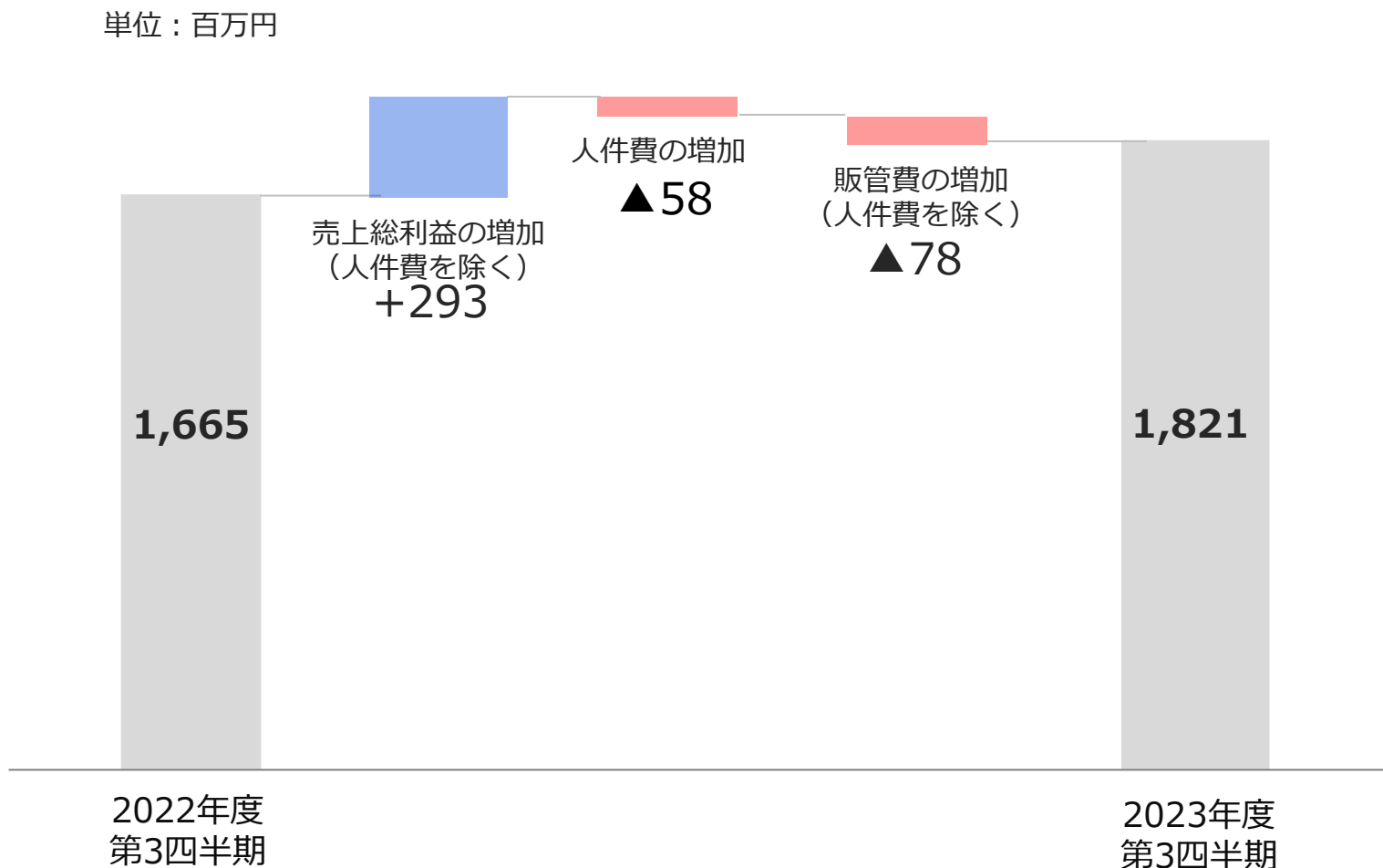
ADVANTAGE CLUB等の不動産取引の売上は会計上、原則、総額表示を採用しております。しかしながら、当社の実態に基づいたPLは下表の通りで、コンサルティング会社としての利益率を確保しております。当社とすればこの実態開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期
売上高※	5,169	5,185	5,719	6,724	6,983
売上原価※	1,205	1,460	937	1,190	1,155
売上総利益	3,964	3,725	4,782	5,534	5,827
売上総利益率	76.7%	71.8%	83.6%	82.3%	83.5%
営業利益	834	736	1,402	1,665	1,821
営業利益率	16.2%	14.2%	24.5%	24.8%	26.1%

※売上高は会計上の売上高のうち不動産売買に係る売上高を純額（不動産仕入に関する売上原価を売上高と相殺）にして計算しております。
売上原価は会計上の売上原価から不動産仕入に関する売上原価及び売上原価に計上されている人件費を控除して計算しております。

営業利益の増減内訳

- ・ 利益率の高い財産承継の売上が増加したことにより、売上総利益（人件費を除く）が増加
- ・ 人員の増加に伴い人件費が増加



区分別の売上総利益

■ 財産コンサルティング

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期
売上高	4,393	4,588
売上原価	2,497	2,543
売上総利益	1,896	2,044
売上総利益率	43.2%	44.6%

■ 不動産取引

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期
売上高	23,640	21,111
売上原価	21,561	19,059
売上総利益	2,078	2,052
売上総利益率	8.8%	9.7%

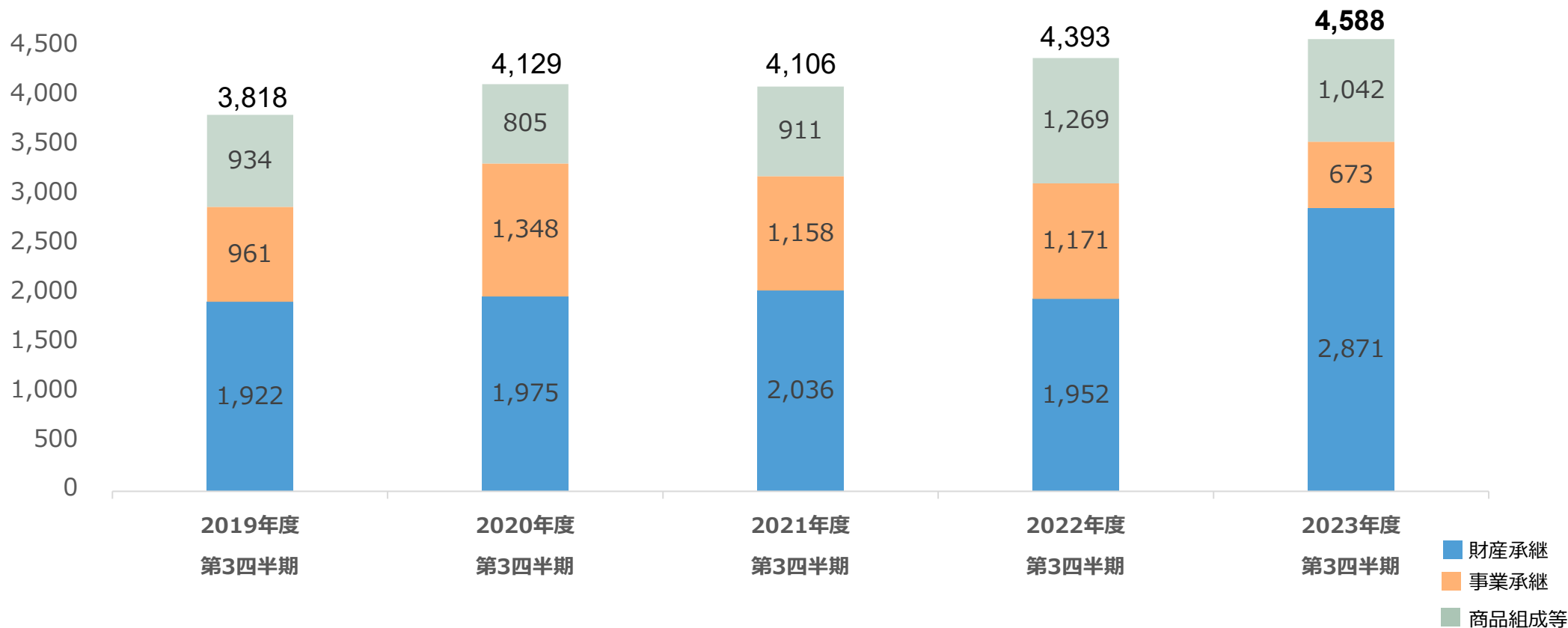
- 利益率の高い財産承継の売上が増加したことにより売上総利益率が改善しております。

- 年間を通して昨年の不動産取引の売上総利益率9.5%を上回る採算を確保してまいります。

財産コンサルティング売上の推移

2023年度は事業承継コンサルティングのうち、M&A、事業承継ファンドが第4四半期に偏重となるものの、財産承継の売上が大幅に増加したことにより、前年同期を上回り着地

単位：百万円



売上高の区分別業績

財産コンサルティング

個人資産家への財産承継コンサルティング、企業オーナーへの事業承継コンサルティング、独自の商品を開発してお客様の財産運用・管理のコンサルティングを行った際の売上等を、財産コンサルティングに計上。

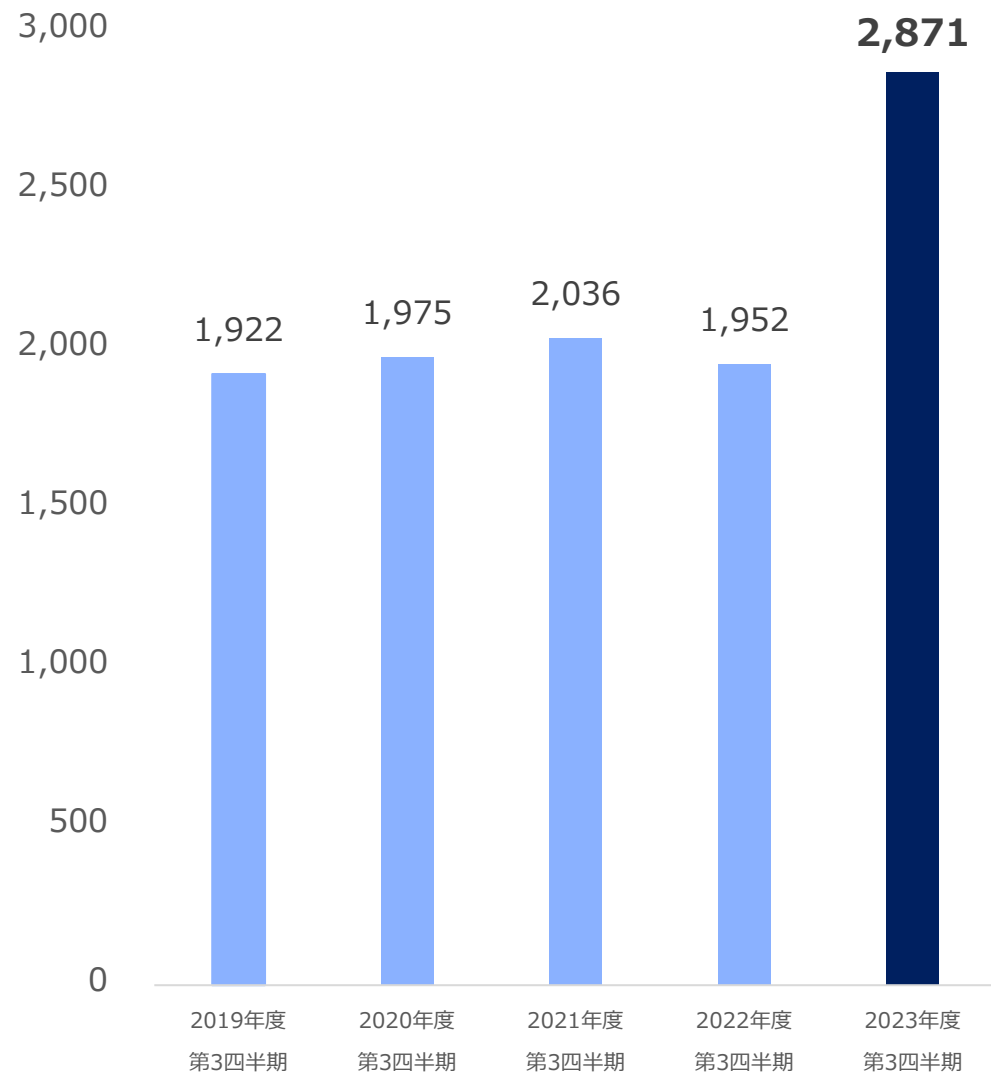
不動産取引

財産コンサルティングの一環として、顧客の資産運用ニーズへの対応を図る目的から、不動産を仕入れ、不動産に関連した商品の開発を行い、当社顧客等への販売を行った際の売上を不動産取引に計上。不動産保有時の賃料収入も併せて計上。

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減率	詳細ページ
財産コンサルティング	4,393	4,588	4.4%	
財産承継	1,952	2,871	47.1%	P.12
事業承継	1,171	673	▲42.5%	P.13
商品組成等	1,269	1,042	▲17.9%	P.14
不動産取引	23,640	21,111	▲10.7%	P.16
ADVANTAGE CLUB	21,602	15,871	▲26.5%	
STO	-	4,576	-	
その他不動産取引	2,037	663	▲67.4%	
合計	28,033	25,699	▲8.3%	

財産承継（個人資産家向け）

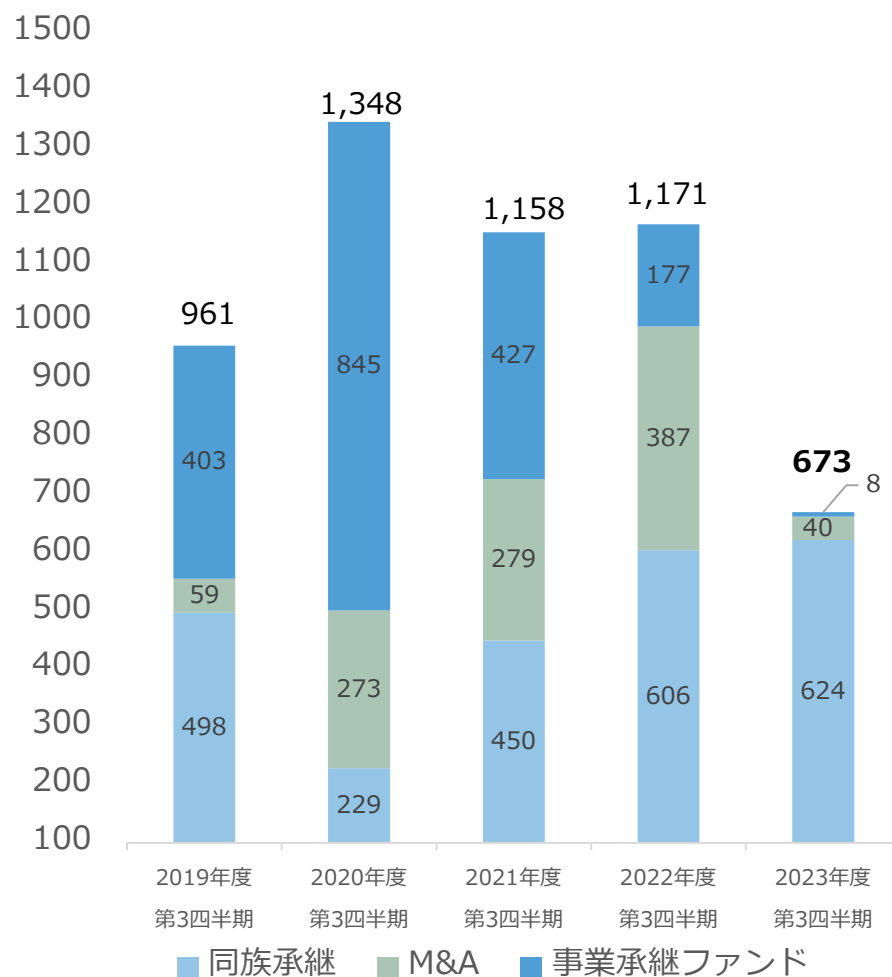
単位：百万円



- 顧客数の増加に伴い売上が大幅に増加しております。

事業承継（企業オーナー向け）

単位：百万円



同族承継

- 概ね前期と同水準。顧客増加によるアカウントプランのクロージングの早期化を目指してまいります。

M&A（第三者承継）

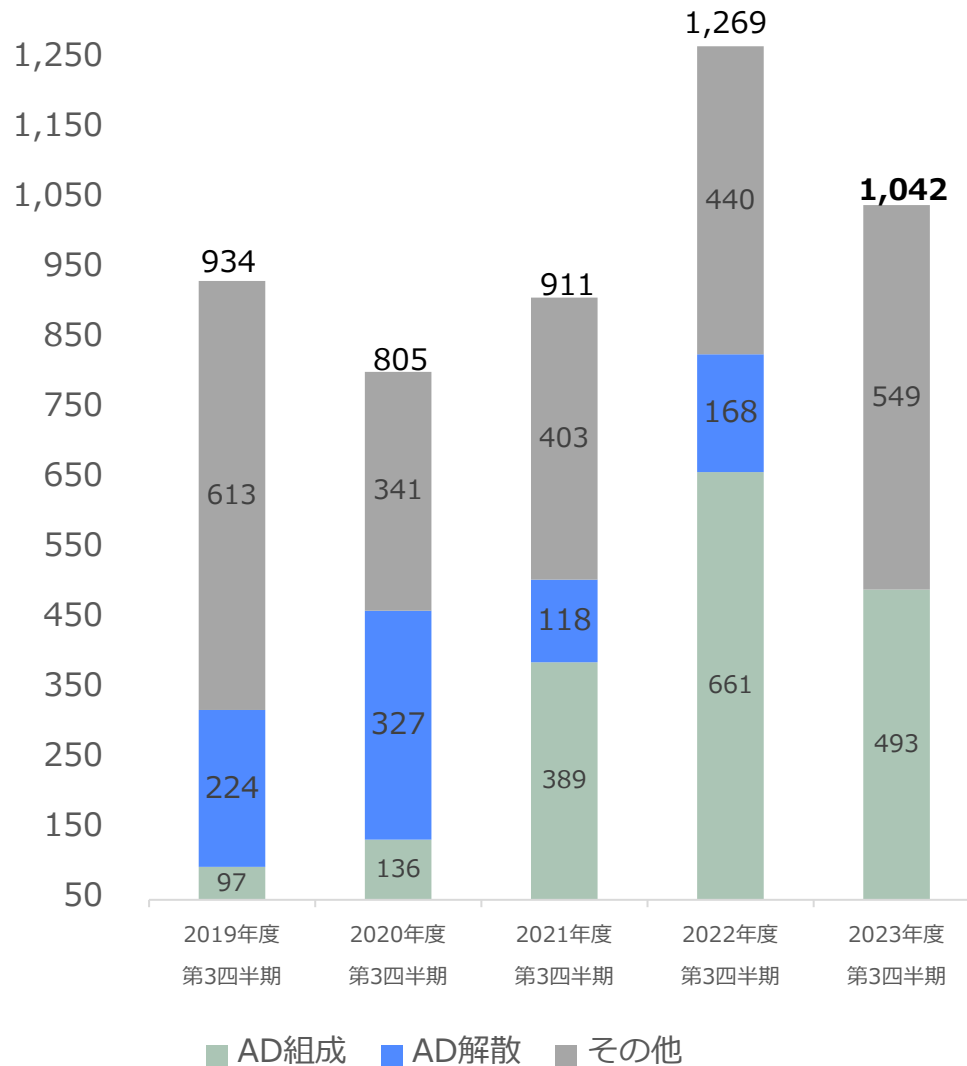
- 今年度は第4四半期に大型のM&Aの成約を見込んでおります。

事業承継ファンド（廃業）

- 今年度は投資回収を第4四半期に見込んでおります。
- 事業承継ファンドのニーズは高く、第4四半期に複数の投資を行う予定です。
- なお、2020年度は845Mの売上に対し605Mの原価が発生（実質売上239M）。

商品組成等

単位：百万円



AD組成（AD組成時の手数料）

- ADVANTAGE CLUBの組成額の減少により前期を下回っております。

AD解散（AD解散時の手数料）

- 第3四半期までに解散はございませんでした。

その他

- 運営中のADVANTAGE CLUBの期中管理報酬、地域創生事業のAMフィー、オペレーティングリースの媒介手数料等を計上しております。

コンサルタント数と顧客数の推移

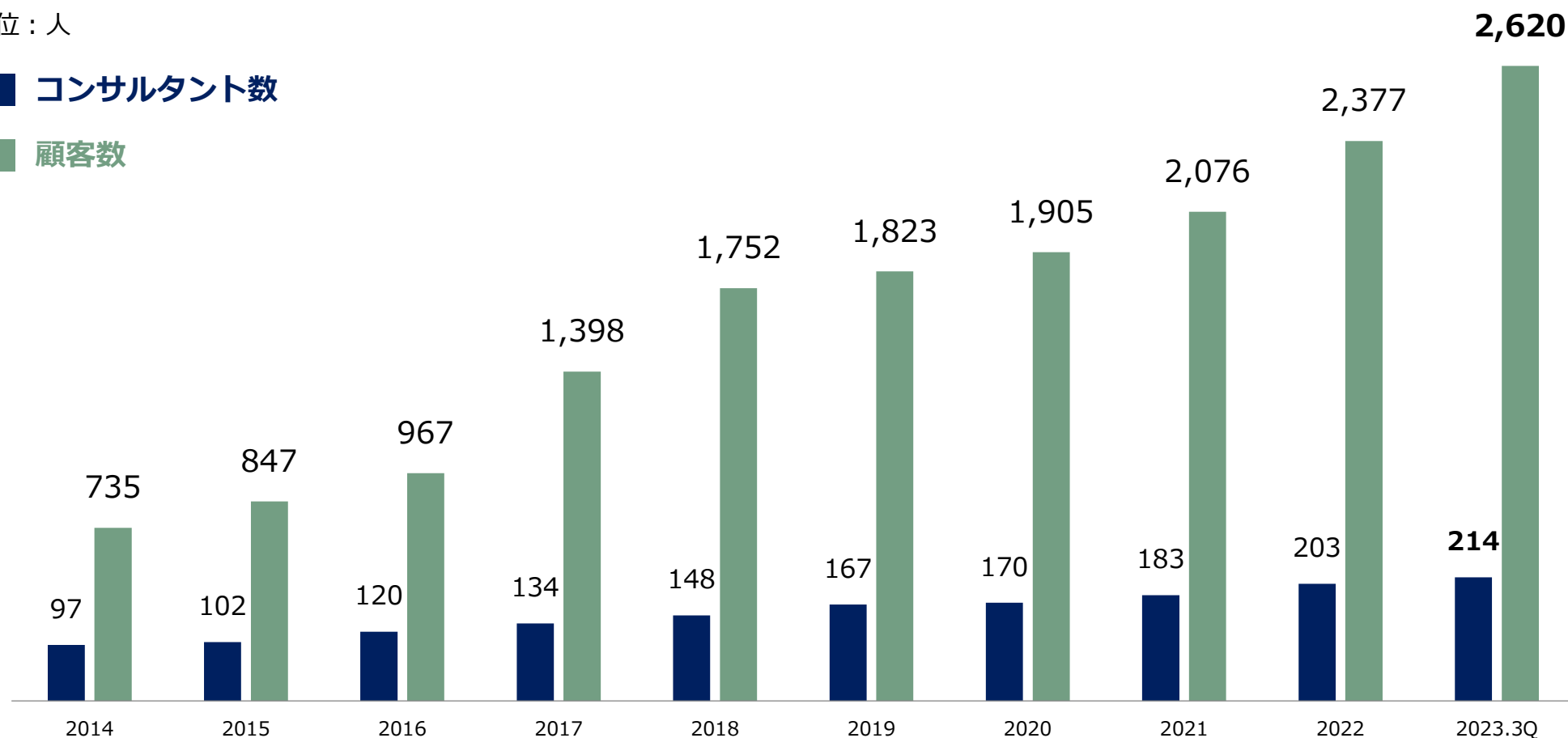
POINT

- 顧客数の増加に伴い、コンサルタントを積極的に採用中
- ARTシステム等の活用により、既存コンサルタントの1人当たり担当顧客数は増加しているものの、新規採用者が増加しているためコンサルタント全体での1人当たり担当顧客数は微増で推移

単位：人

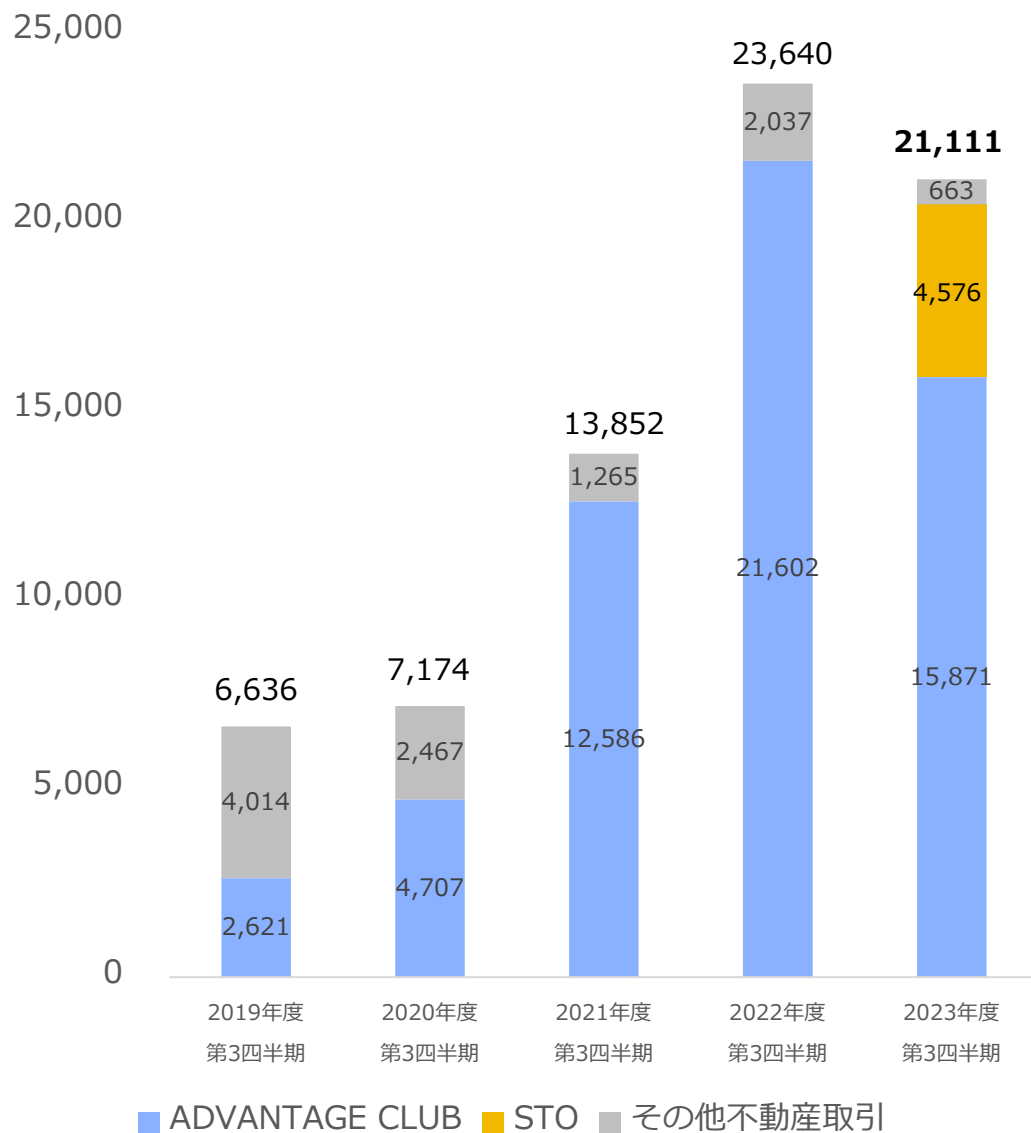
■ コンサルタント数

■ 顧客数



不動産取引

単位：百万円



ADVANTAGE CLUB（不動産取引）

- 第3四半期までで5件の組成となりました。
- 募集開始後、短期間で完売していることから今後も組成を加速させてまいります。

STO

- 第1号案件組成の売上を計上しております。

その他不動産取引

- ADVANTAGE CLUB以外の不動産の提供や不動産保有時の賃料収入を計上しております。

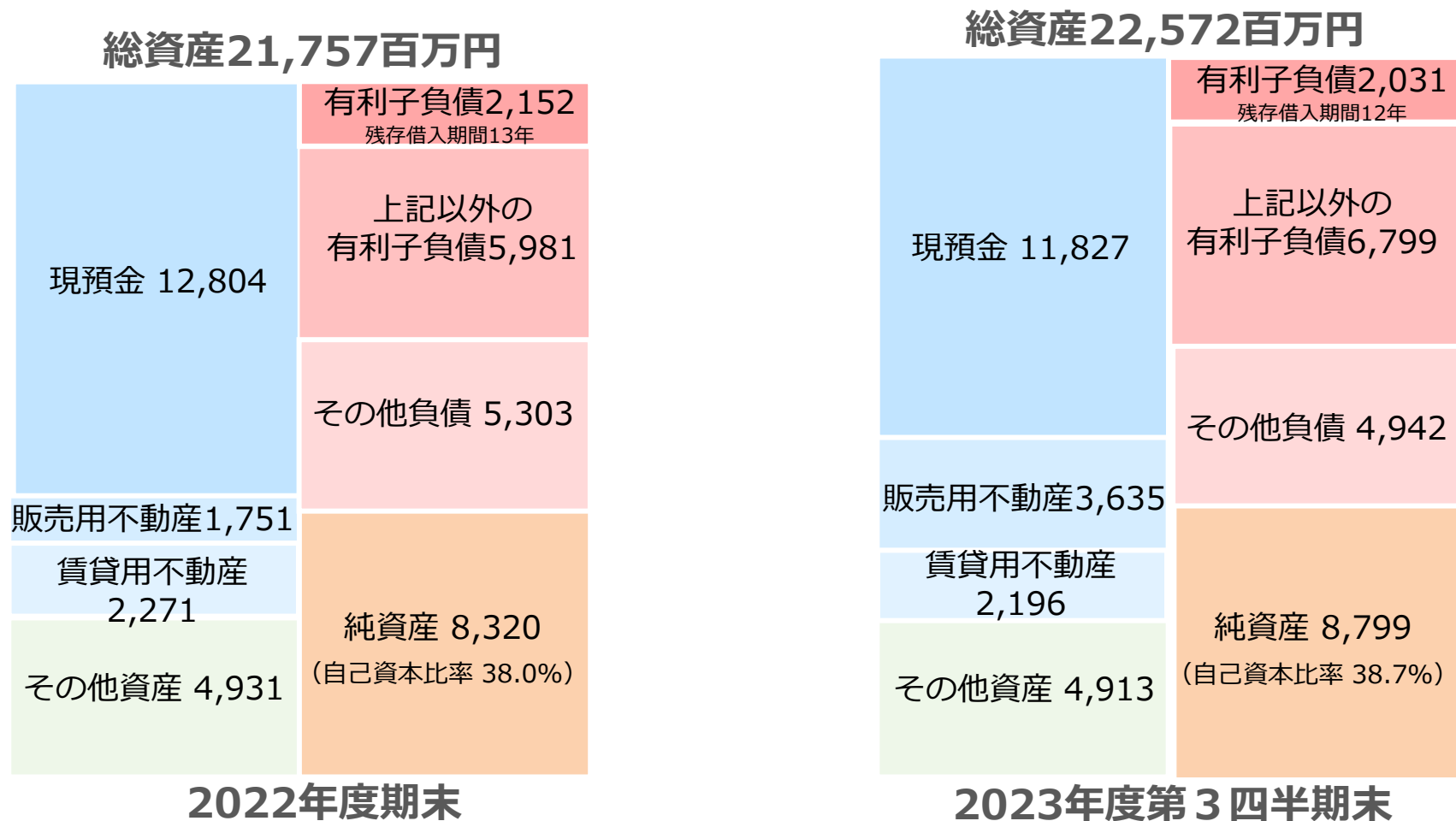
BSハイライト (財務戦略)

【基本方針】2年分の人件費と経費を賄うための現預金100億円水準を常に確保。また、万が一の経済リスクの発生に備えエクイティと同額水準の期間5年のコミットメントラインを組成済み。純有利子負債のマイナスを維持。

【販売用不動産の在庫方針】ADVANTAGE CLUBの組成を拡大していきませんが、募集を事前に完了させ不動産の仕入決済と同日にADVANTAGE CLUBの組成を行い、在庫を持たない方針を継続（リノベーション中の物件は保有）。

不動産在庫を持たない方針であることから金利引き上げによる影響はございません。

※ ADVANTAGE CLUB神楽坂通り組成のための販売用不動産を9月に取得したため、一時的に販売用不動産と有利子負債が増加しておりますが、11月10日に売却・返済済みです。





Section 3

株主還元方針

株主還元方針

1 配当性向50%以上

2 継続的な増配

3 株主資本コストを上回るDOE水準の維持

※株主資本コストを約8%と想定しております。

	2020年度	2021年度	2022年度	3ヶ年平均	目標
配当性向	80.3%	45.7%	50.1%	58.7%	50%水準
DOE	10.2%	10.1%	11.0%	10.4%	10%水準

配当の推移

(単位：円)

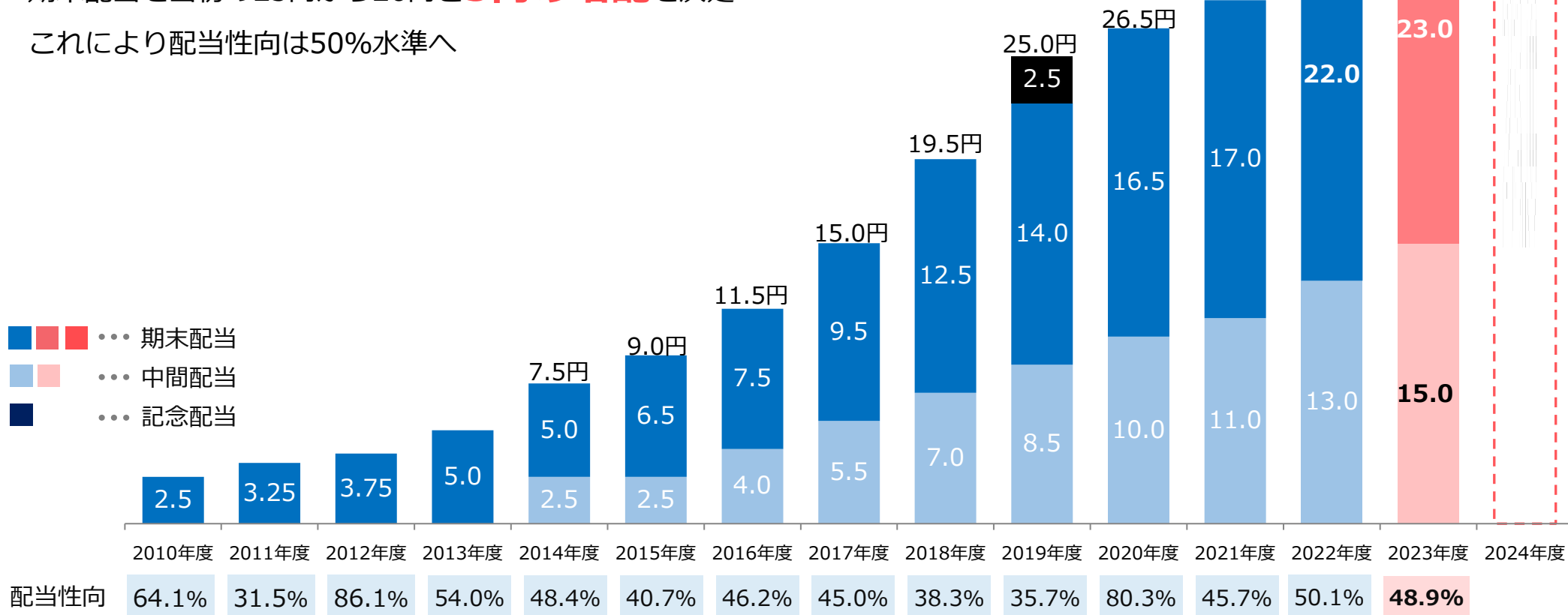
12期連続増配を実現済、今年度は「13期」連続増配へ 41.0円

第三次中期経営計画期間では**14期連続増配**を目指す方針

2023年度の着地見込の蓋然性が高まったことから、

期末配当を当初の23円から26円と**3円の増配**を決定

これにより配当性向は50%水準へ



※2021年9月1日に株式分割（1株につき2株の割合をもって分割）を実施し、分割を考慮した配当金額に置き換えております。



Section 4

Appendix

- 会社概要
- マーケット環境
- 戦略的個別サービス
- ADVANTAGE CLUB
- DXの進捗状況
- 今年度のIR活動
- ESG/SDGs の取組み
- 書籍・セミナー紹介



Company Profile

商号	株式会社青山財産ネットワークス
上場市場	東京証券取引所市場スタンダード (証券コード：8929)
本店所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目4番14号青山タワープレイス3階 電話 03-6439-5800(代)
設立	1991年9月17日
資本金	12億1099万円 ※2023年6月30日現在
従業員数	297名(グループ連結) ※2023年6月30日現在
事業内容	財産コンサルティング 事業承継コンサルティング 不動産ソリューションコンサルティング
主な特徴	<ul style="list-style-type: none">■ 財産コンサルティング・事業承継コンサルティング専業の上場企業■ 税理士・公認会計士・弁護士や不動産業界・金融機関出身者、150名以上が所属するプロフェッショナル集団■ 自社株式・株主対策と不動産に関するソリューションに強み

History of the Company

1990 年代	1991年	9月	(株) 船井財産ドック 〈(株) 船井総合研究所のグループ会社〉を設立
	1999年	4月	(株) 船井財産コンサルタンツに商号変更
2000 年代	2002年	5月	ADVANTAGE CLUB(アドバンテージクラブ)がスタート
	2004年	7月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
	2008年	10月	(株) プロジェストホールディングスを経営統合
2010 年代	2011年	1月	Aoyama Wealth Management Pte.Ltd.をシンガポール共和国に設立
	2012年	7月	(株) 船井財産コンサルタンツの商号を(株) 青山財産ネットワークスに変更
	2013年	10月	(株) 日本資産総研を経営統合
	2015年	5月	東京証券取引所第二部に市場変更
	2016年	1月	新生青山パートナーズ(株) 〈(株) 新生銀行との合併会社〉を設立
		8月	(株) 事業承継ナビゲーター 〈(株) 日本M&Aセンターとの合併会社〉を設立 (現：(株) ネクストナビ)
	2017年	5月	PT Aoyama Zaisan Networks INDONESIAをインドネシア共和国に設立
		10月	地域創生事業 第1号案件「Komatsu A×Z Square(こまつアズスクエア)」を竣工
	2019年	2月	(株) キャピタル・アセット・プランニングと資本業務提携
		12月	(株) 青山財産ネットワークス九州 〈HACグループ及び篠原公認会計士事務所グループとの合併会社〉を設立
2020 年代	2020年	9月	不動産特定共同事業者協議会 会長就任
		10月	(株) 青山フィナンシャルサービスを設立
	2021年	1月	(株) 青山ファミリーオフィスサービスを設立
	2021年	9月	創立30周年
	2022年	8月	地域創生事業 第2号案件「TSURUGA POLT SQUARE otta (オッタ)」を竣工

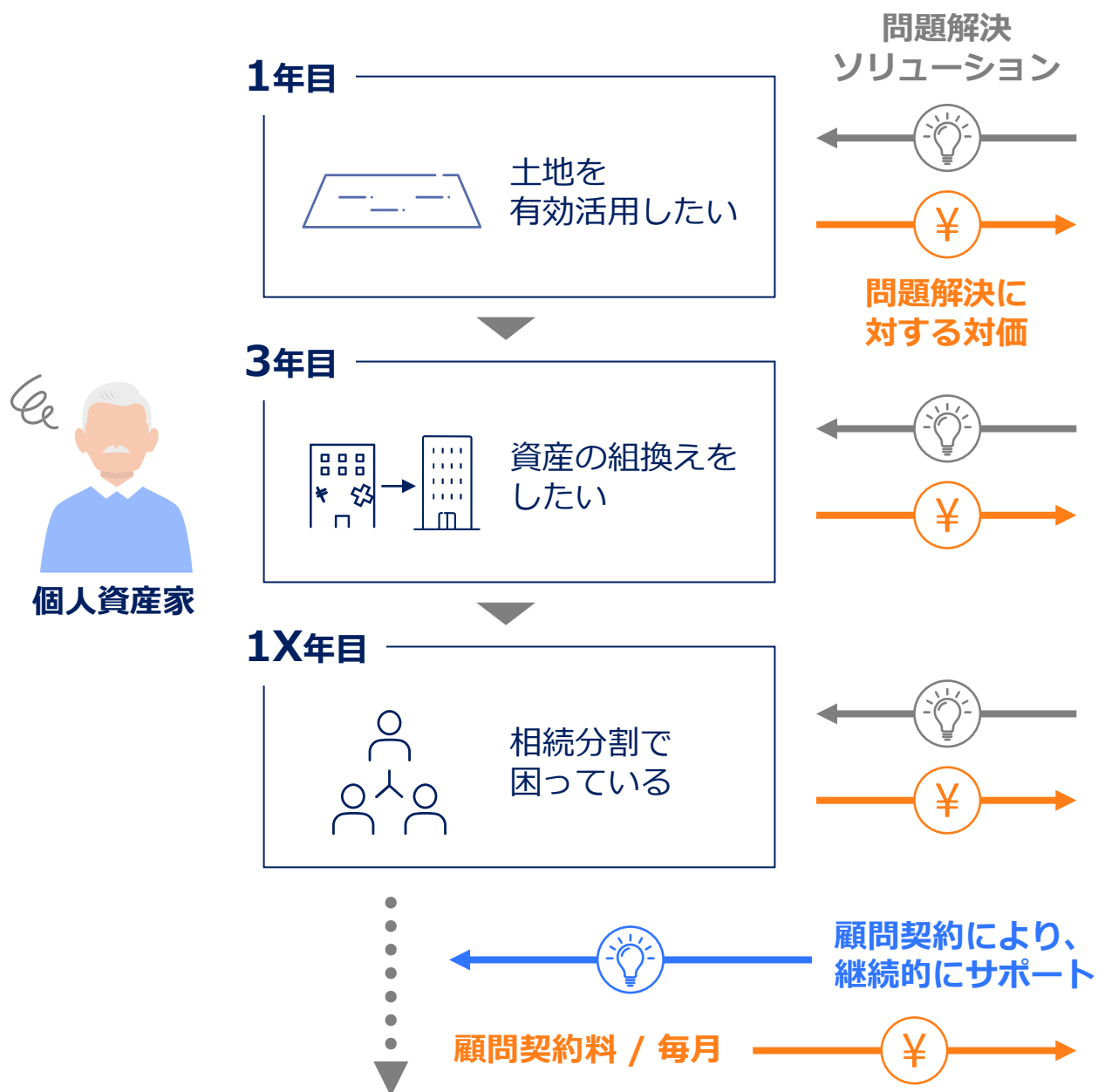
経営目的と事業内容

経営目的	財産の承継・運用・管理を通じてお客様の幸せに貢献する	
事業内容	最適な財産構成の実現とキャッシュフローの極大化コンサル 〈 総合財産コンサルティング 〉	
顧客層	個人資産家 (地主・金融資産家) 資産平均10億円	企業オーナー (経営者)
ソリューション	 <ul style="list-style-type: none">■ 相続対策■ 不動産有効活用■ 広大地活用■ 不動産購入、売却 など	 <ul style="list-style-type: none">■ 事業承継(後継者支援)■ M&A■ 転廃業支援■ 財務改善、成長戦略 等

■ ADVANTAGE CLUB、地域創生事業、海外資産運用、
IFAによる金融商品コンサルティング※

※グループ会社である株式会社青山フィナンシャルサービス（（金仲）第939号）にてご提供

個人資産家向けビジネス

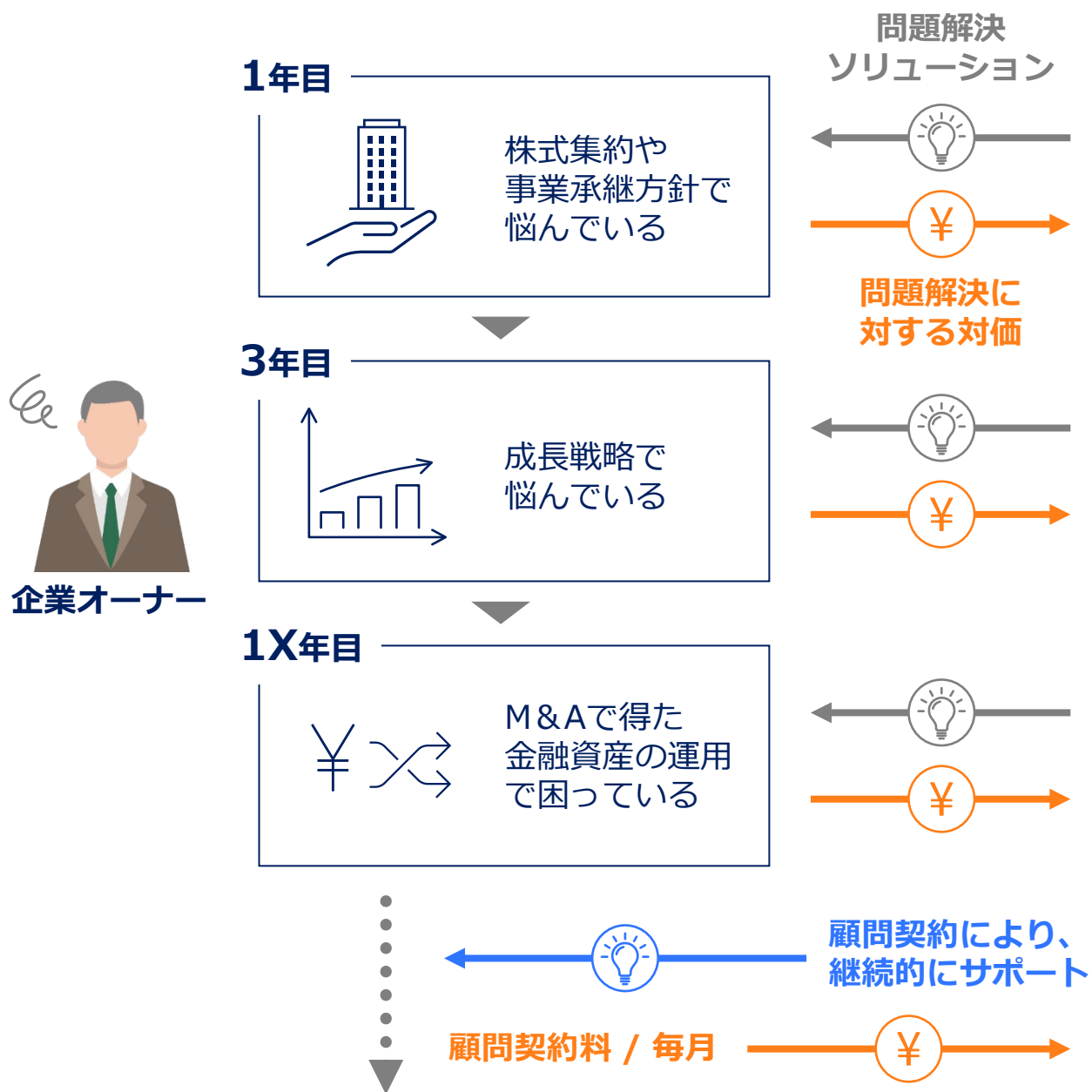


ライフステージに合わせて
最適な財産構成になるように
**継続的な繋がりを構築し
コンサルティング**

個人資産家の顧客数

約**2,100**名

企業オーナー向けビジネス



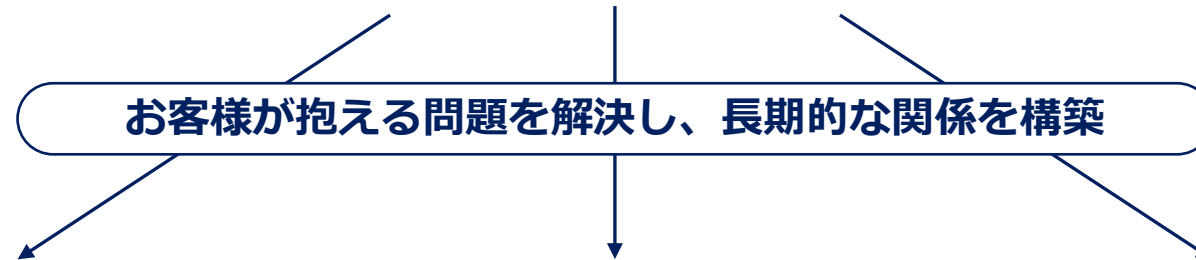
Aoyama Zaisan Networks

お客様にとって最適なタイミングで事業承継や財産運用などの課題を解決することで

長期・継続的にコンサルティング

企業オーナーの顧客数 約**500**名

ビジネスモデルの特色



当世代

次世代

次々世代



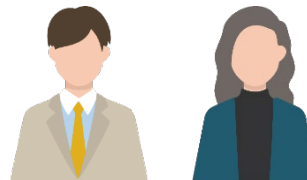
個人資産家



企業オーナー



財産の承継
・運用・
管理、
事業承継



財産の承継
・運用・
管理、
事業承継



当世代から次世代以降へのコンサルティングによる
収益を長期的に計上するビジネスモデル

上場後の売上高と営業利益

(売上高：百万円)

(営業利益：百万円)

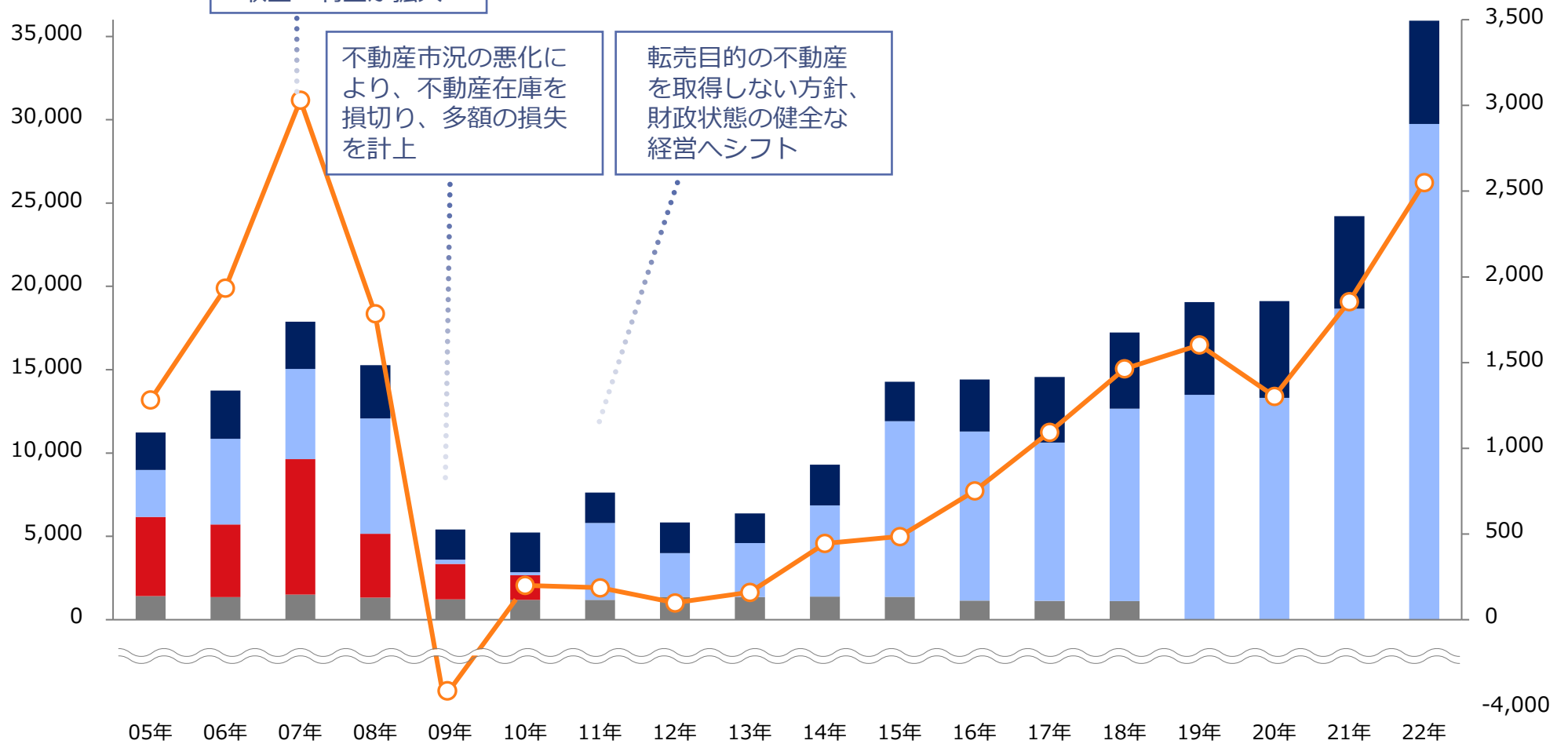
サブリース、その他
 不動産の転売
 コンサル不動産取引
 財産コンサルティング
 営業利益

〈アドバンテージクラブ〉

上場後、積極的な不動産販売により、収益・利益が拡大

不動産市況の悪化により、不動産在庫を損切り、多額の損失を計上

転売目的の不動産を取得しない方針、財政状態の健全な経営へシフト

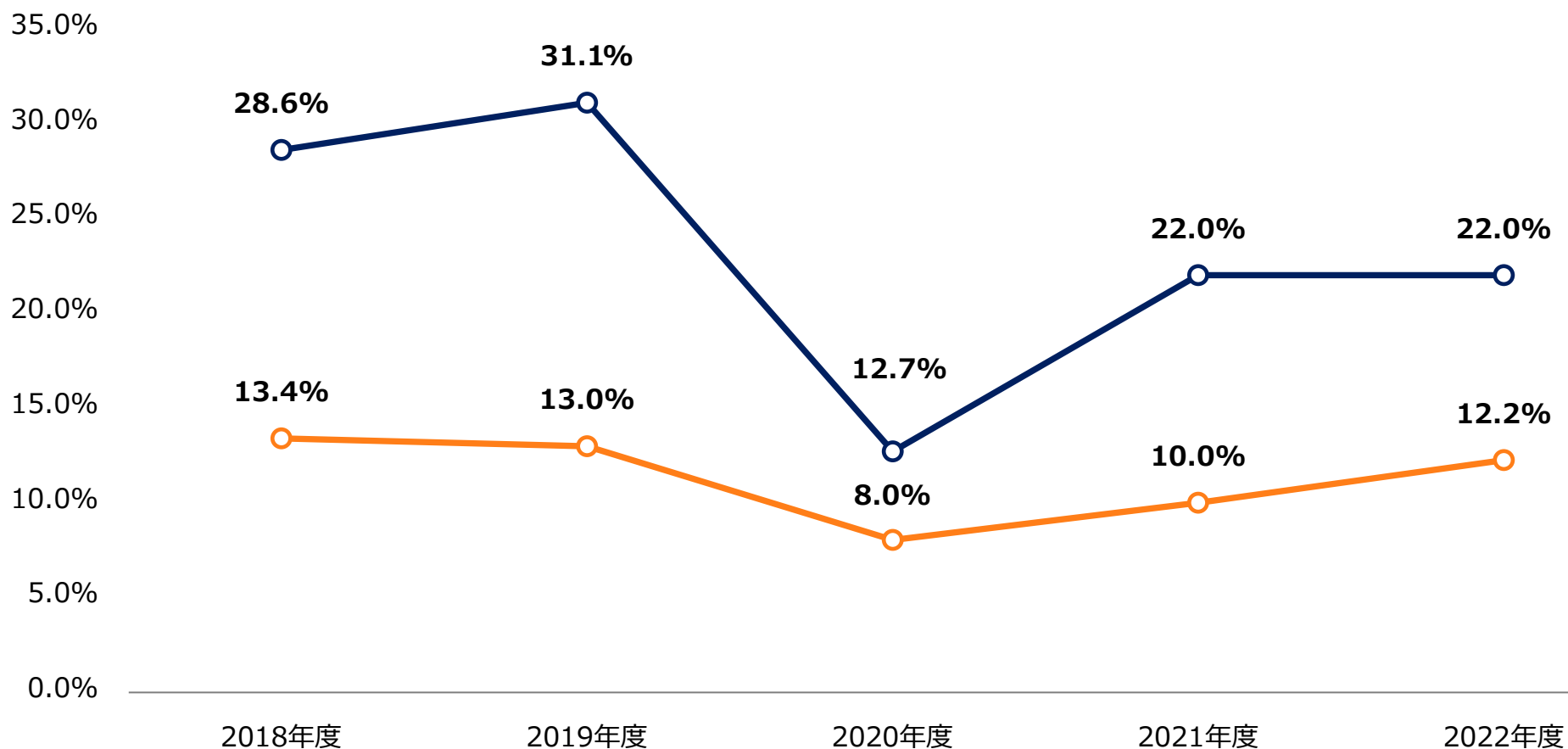


ROEおよびROICの推移

ROE 目標 **20%**水準以上（2023年度は23%程度の見込み）

ROIC 目標 **10%**水準以上（2023年度は13%程度の見込み）

—○— ROE —○— ROIC

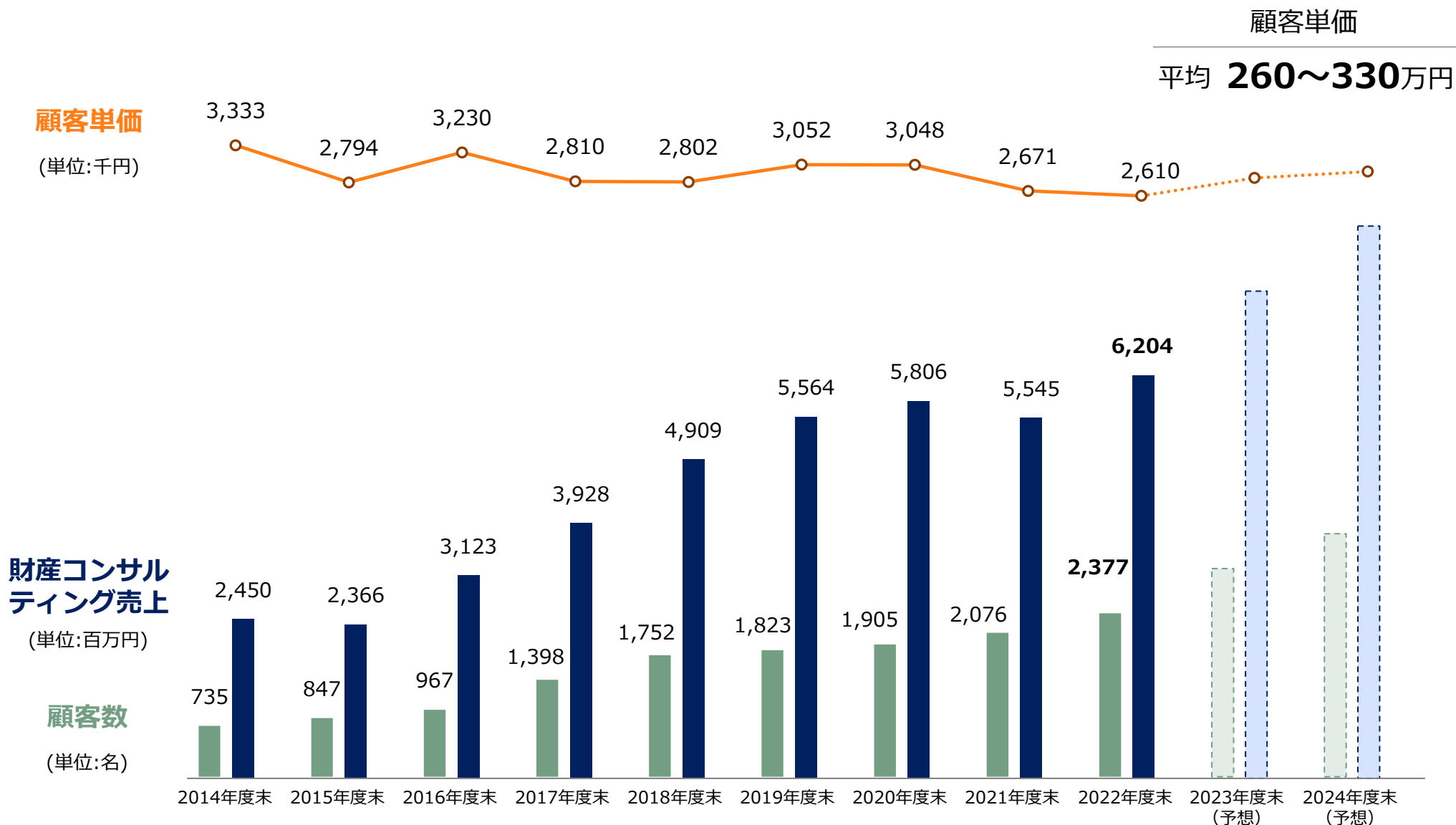


顧客数、財産コンサルティング売上、顧客単価の推移

POINT

顧客数の増加により財産コンサルティング売上を拡大

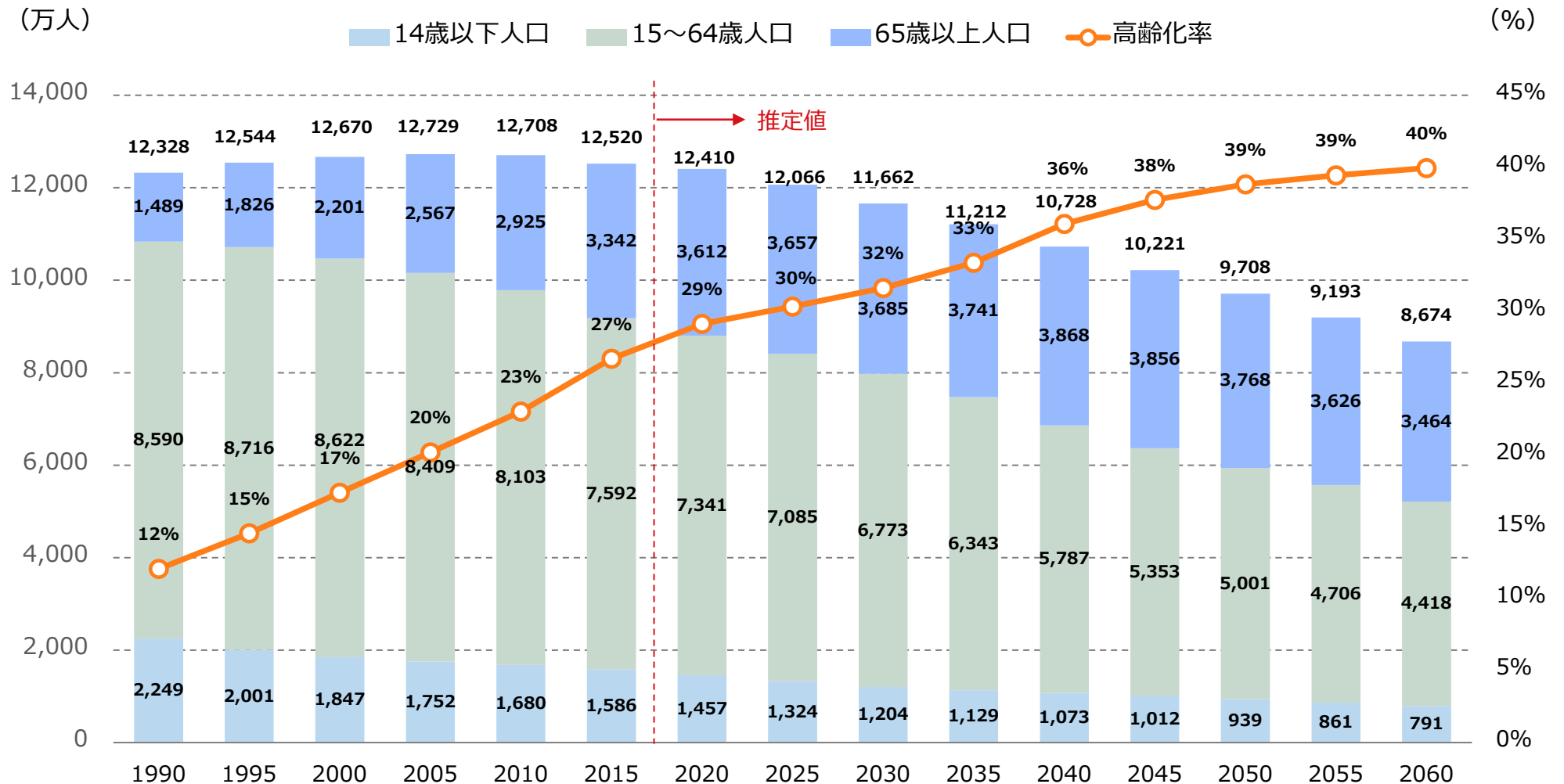
2023年度の顧客単価は270万円～水準で微増ながら増加の見込み



日本の人口の推移

POINT

- 65歳以上の高齢者人口は今後も上昇
- 高齢化が進む中で、相続市場における需要は増えることが予想



個人資産家を取り巻く環境 〈相続マーケット〉

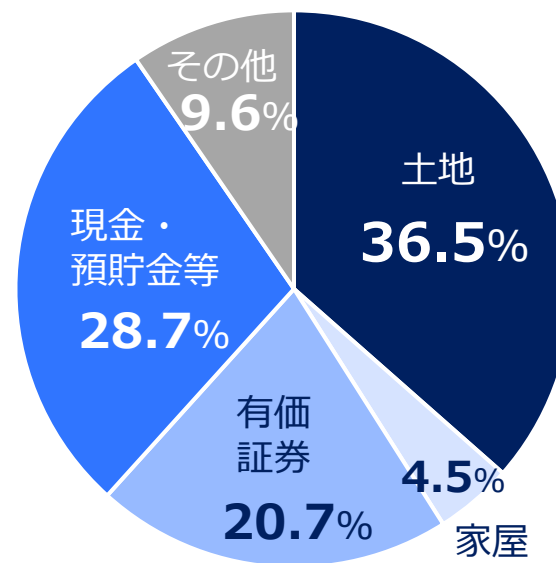
POINT

相続財産に占める現金・預貯金等、有価証券の割合は50%となっており、資産ポートフォリオの見直しによる納税資金対策ニーズは依然として大きい状況

相続税申告事績 〈東京都 / 令和3年〉

①	被相続人数（死亡者数）	127,649（人）	
②	相続税の申告書の提出に係る被相続人数	23,130（人）	
③	課税割合（②／①）	18.1%	
④	相続税の納税者である相続人数	50,706（人）	
⑤	課税価格	42,790（億円）	
⑥	税額	7,469（億円）	
⑦	1人あたり	課税価格（⑤／②）	18,500（万円）
⑧		税額（⑥／②）	3,229（万円）

相続財産の金額の構成比 〈東京都 / 令和3年〉



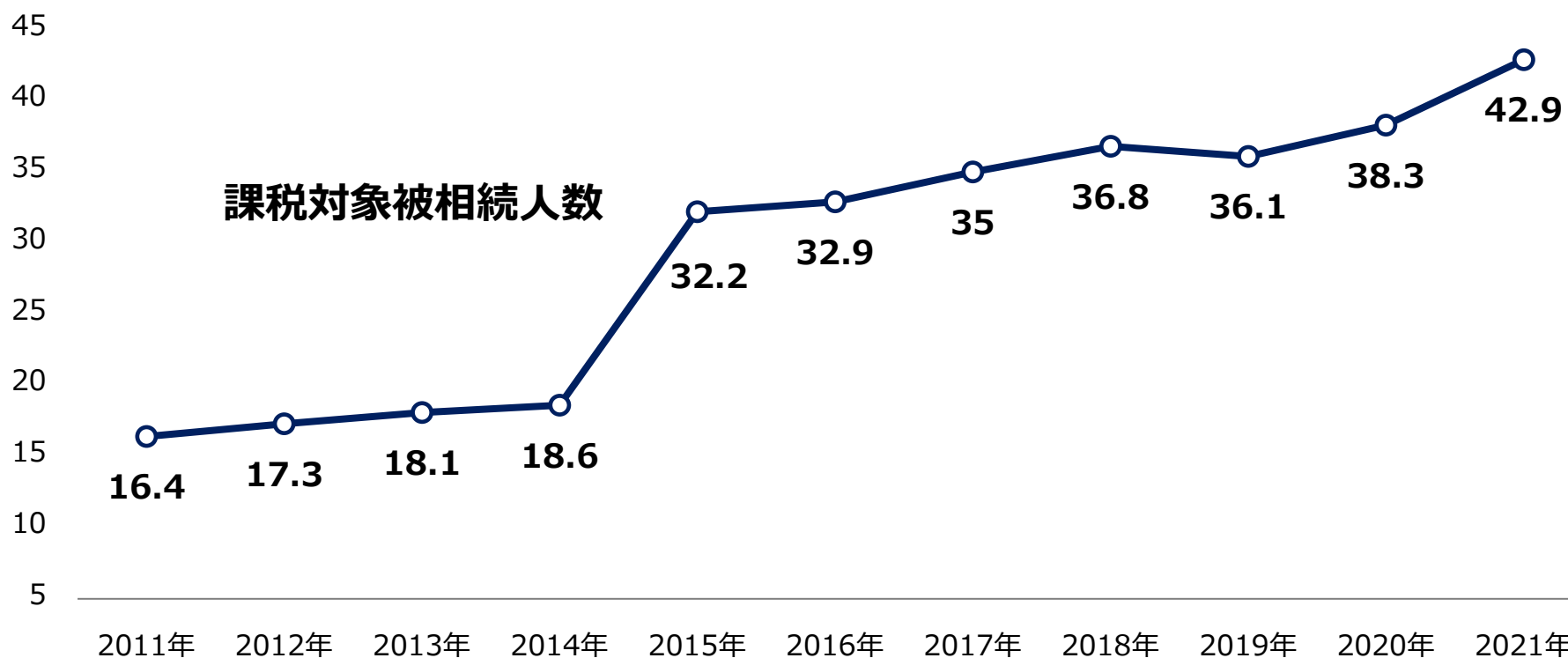
個人資産家を取り巻く環境 〈相続マーケット〉

POINT

- 平成25年度（2013年）税制改正 ※平成27年（2015年）1月1日施行
相続税の**基礎控除の縮減、最高税率が55%に引き上げ**
…▶ **課税対象者数が急増し、課税割合が大幅増加**

被相続人数の推移 〈東京・千葉・神奈川・山梨〉

単位：千人

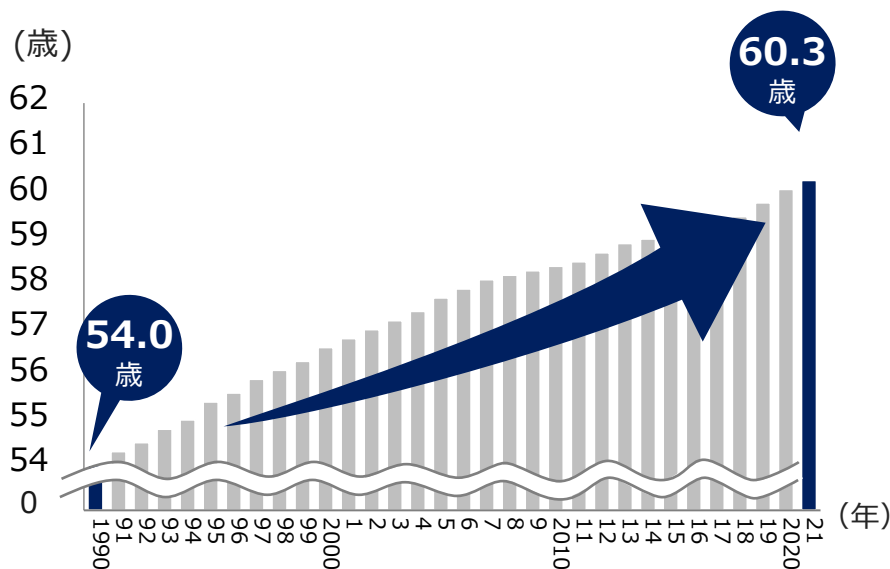
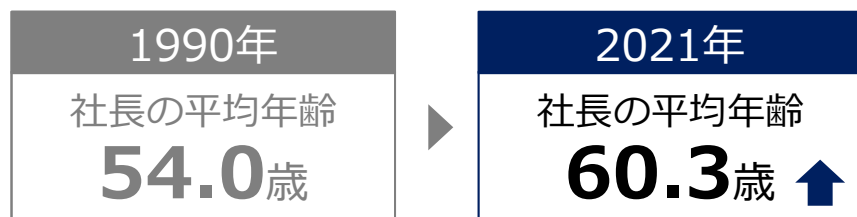


企業オーナーを取り巻く環境 〈事業承継マーケット〉

POINT

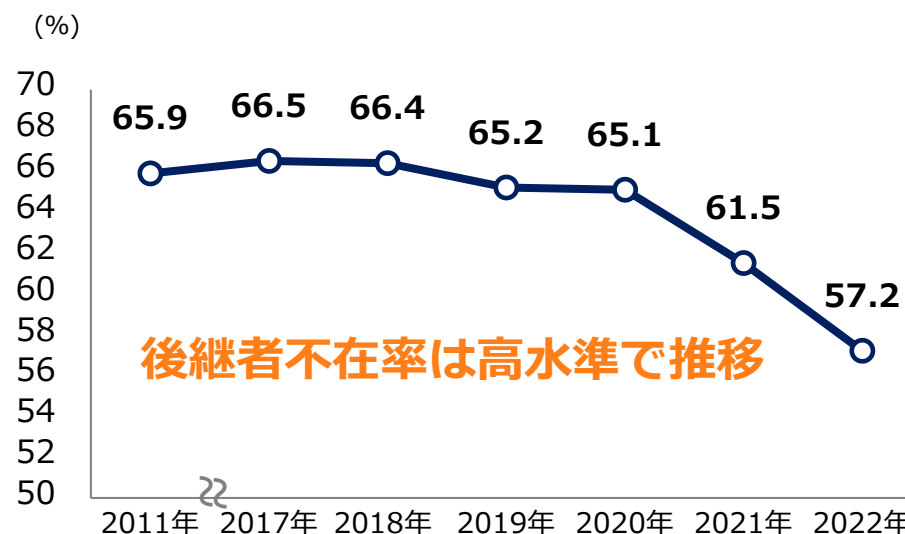
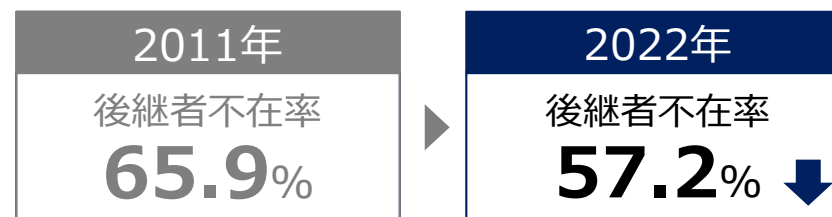
- 社長の平均年齢は年々上昇し、60歳超となっている
- 後継者不在率は、未だ高水準で推移

社長の平均年齢（全国）



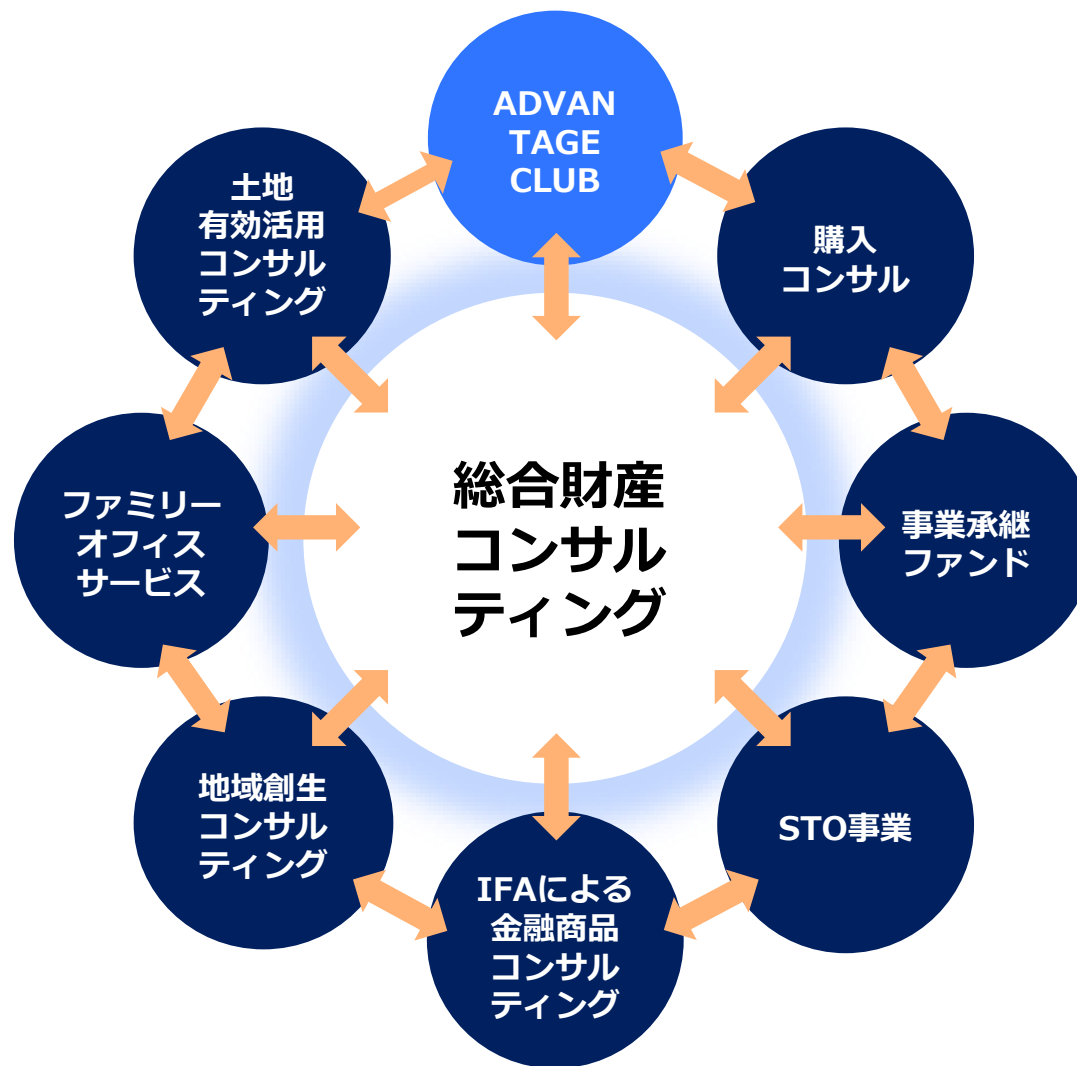
Source: 帝国データバンク 全国社長年齢分析 (2021年) 資料を元に再編加工

後継者不在率（全国）



Source: 帝国データバンク「全国企業「後継者不在率」動向調査2022年」資料を元に再編加工

戦略的個別サービスを 全体 of 財産相談
総合財産コンサルティング ^



8つの戦略的個別サービス

ADVANTAGE CLUB (不動産小口化商品)

都心3区を中心に資産価値の高い不動産を共同で購入し、不動産賃貸で収益を受け取る不動産賃貸システム。

購入コンサルティング

都心の収益不動産の販売と販売後のトータルした物件管理を行うコンサルティング。

土地有効活用 コンサルティング

首都圏の土地を対象にお客様の土地情報とテナントの出店情報を当社の有効活用専門チームが集約し、お客様の土地有効活用のプランニングと実行の支援を行う。

ファミリーオフィス サービス

一定規模の同族企業様に対して、一族と一族事業の永続的繁栄を可能にする仕組み作りと運用のサポートを行うサービス。

地域創生 コンサルティング

当社が持つ不動産特定共同事業法とファイナンスのノウハウで、当社のお客様をはじめ官民の出資により地域活性化に繋がる遊休地や老朽化した公共・公益施設等の不動産を開発し運営する。

事業承継ファンド

赤字だが資産超過の企業等を主な対象先として、事業規模の縮小・整理及び雇用の維持、オーナーの財産保全を目的に、承継ファンドで支援するサービス。

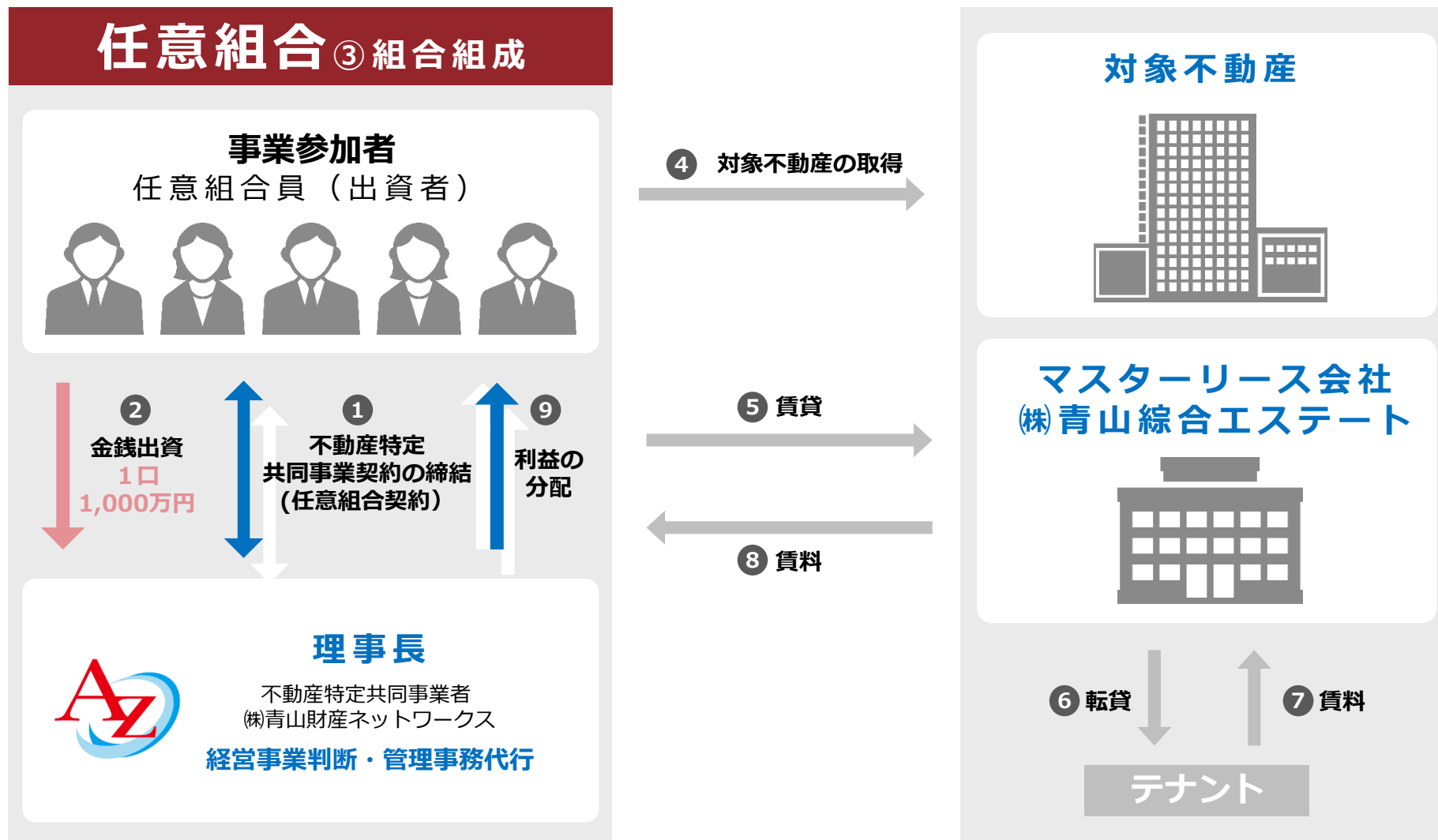
IFAによる金融商品運 用コンサルティング

最も典型的な有価証券運用サービスである、グローバルエクイティ、グローバル債権をベースにした長期的な金融商品運用のサポートを行う。

STO事業

2020年の金商法改正に伴い発行が可能となった収益不動産を裏付けとした有価証券であるSTO(セキュリティトークンオフリング)の提供を行う。

ADVANTAGE CLUBの仕組み



ADVANTAGE CLUBの組成実績

POINT

- 募集開始後に短期間で販売完了しており、ニーズは極めて旺盛
- 地方銀行・証券会社等の提携金融機関との連携を強化し更なる販売力の向上
- ADVANTAGE CLUBを入口とし、総合財産コンサルティングへ誘導



京橋宝町

- 2023年6月実施
- 出資総額 **17.5億円**



赤坂

- 2023年3月実施
- 出資総額 **59億円**

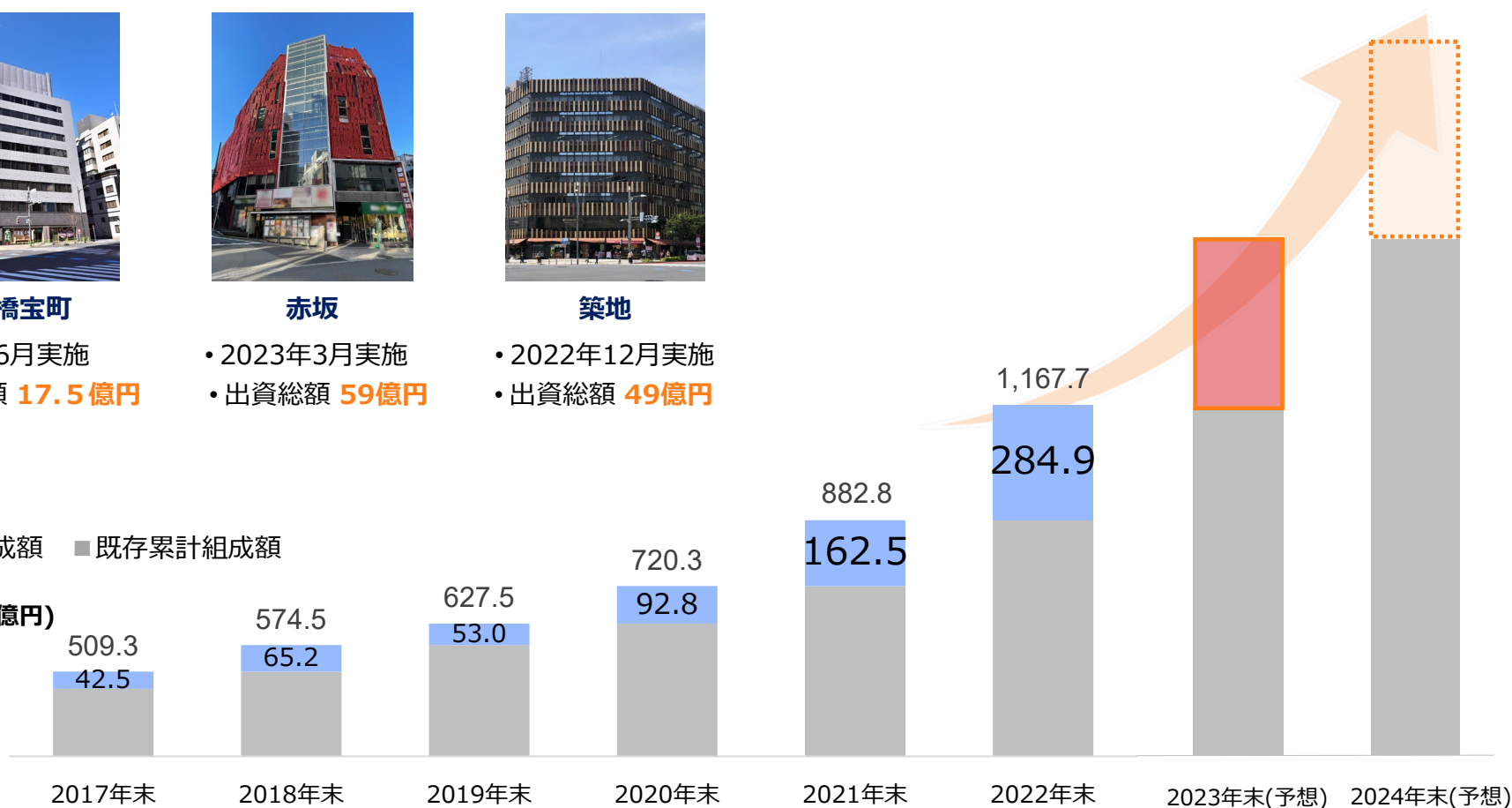


築地

- 2022年12月実施
- 出資総額 **49億円**

■ 新規組成額 ■ 既存累計組成額

(単位：億円)

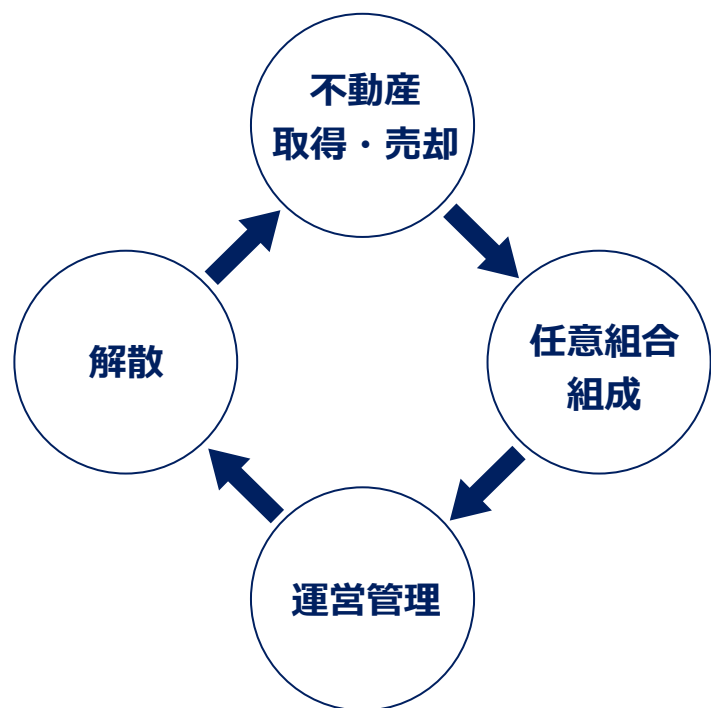


ADVANTAGE CLUB(AD)の長期的収益モデル

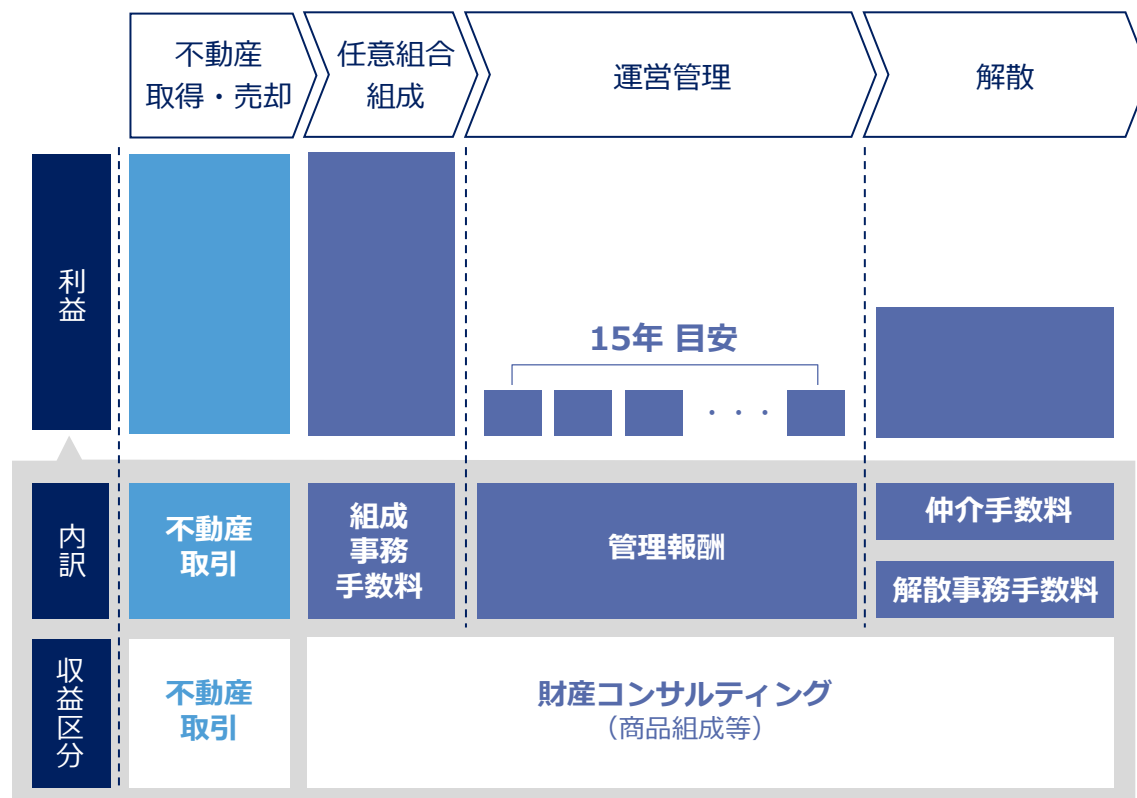
POINT

- ADの「組成」「運営管理」「解散」が収益ポイント
- AD組成数に比例した長期的収益モデル

組成から解散の循環モデル



収益化ポイント



ADVANTAGE CLUBの償還実績（物件売却による組合解散）

POINT

- 2010年以降、不動産マーケットの動向や物件の状態・稼働状況等を総合的に判断。組合員様の決議により**31物件を売却**し、売却代金を組合員の皆様に分配

売却した物件の一部（概ね、組合組成6～8年経過後から売却検討。組成組合後10年程度が売却の目途。）

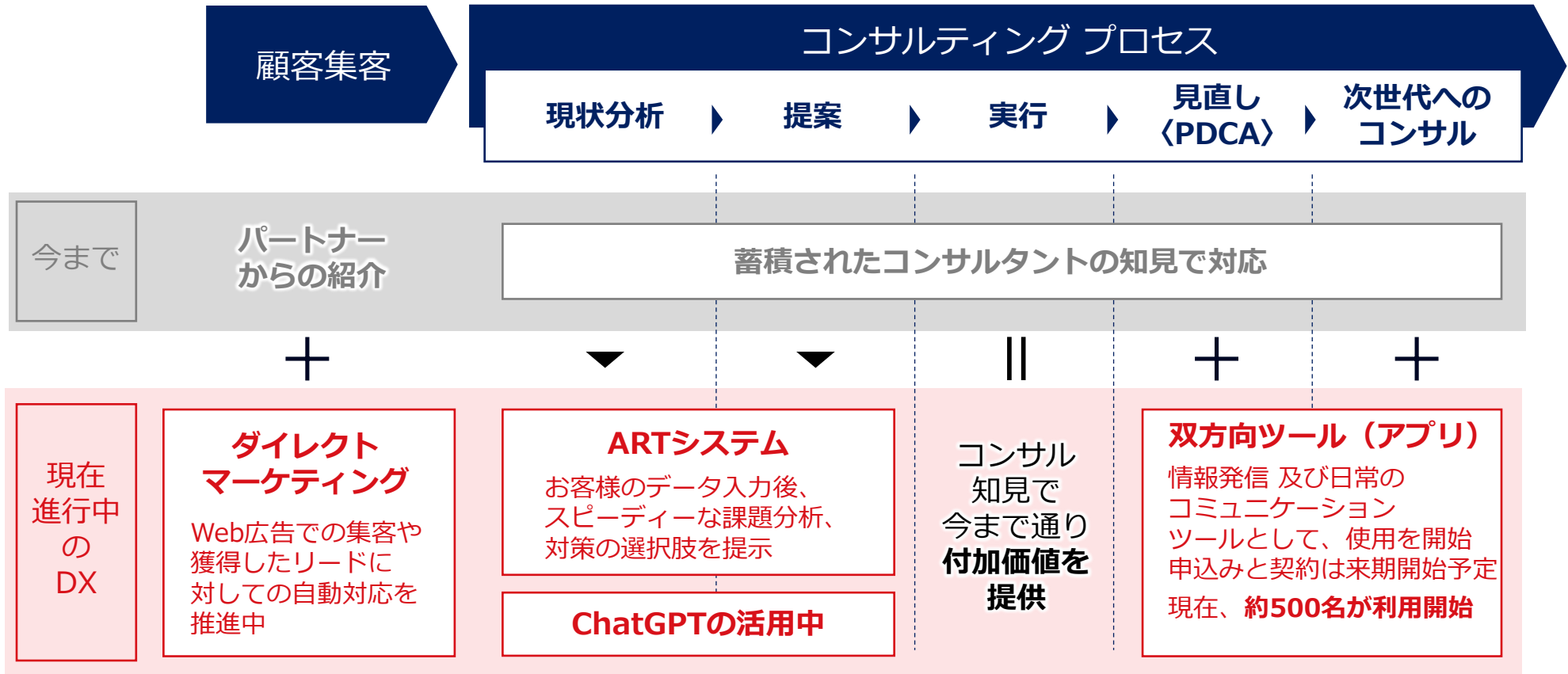


物件売却のパフォーマンス（物件売却により解散した31組合の平均）

平均運用期間	一口当たり（千円）※千円未満を四捨五入					単純平均した 年間換算利回り (概算)
	組成金額 A	平均売却価格 B	売買損益 C (B - A)	平均分配金額 D	平均差引収支 (C + D)	
9年3ヶ月	10,000	11,137	1,137	4,529	5,666	6.12%

DX化の進捗状況

POINT | コンサルティングでのDX化と商品分野でのDX化を推進中



商品のDX

...▶ **不動産STO <デジタル証券>**

今年度のIR活動について

POINT | 株主との対話の機会を拡充、6月以降は更なるIR活動を実施

1 海外IRの充実

- 初の**海外IRロードショーの実施**

8月アメリカのニューヨークやサンフランシスコなどで、
機関投資家約20社との面談を実施、次回はアジア圏で開催予定

2 積極的なIR活動

- **個人投資家向け説明会を6月に開催。11月も実施予定**
- **機関投資家向けのスモールミーティングを8月25日に開催**
- 2022年度は約**150件のIR面談**を実施、
2023年度は昨年を大幅に上回る200件を実施予定
- 2023年5月に**3年連続となる統合報告書の発刊**
- **人的資本経営へ取り組みやTCFDへの対応**について、
有価証券報告書、統合報告書、HP等にて積極的に開示

3 その他

- 機関投資家ひびき・パース・アドバイザーズ社による、
当社応援型エンゲージメントの紹介資料および紹介動画の作成
- アストリス・アドバイザーリー・ジャパン社による当社レポート発刊
(8月に当社ホームページに掲載済み)

ESG/SDGsの取組み

E 環境

〈SDGsと事業の関係性〉



●気候変動への対応を事業継続に影響を及ぼす重要な経営課題であると認識し、特に不動産に関連した事業活動に伴い排出されるCO2が、気候変動に影響を与える主要なリスクと捉えています。そのため、環境に配慮した取り組みを資産価値の向上と社会的課題解決に貢献できるものと位置付け取り組んでいます。

- ・「ADVANTAGE CLUB」における環境負荷の少ない設備とクリーンエネルギーを活用した電力への切り替えを推進する。
- ・「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言への賛同及び情報開示。
- ・運用するADVANTAGE CLUBのテナントと連携して、節水や廃棄物の削減を推進することで循環型社会に貢献する。
- ・土地活用や建築サポートは現状分析にESGの観点も取り入れ、資材や塗料等も環境負荷の少ない設備の活用を推進する。

S 社会



●経営資本である「人材」の「人間力の向上」を掲げ、最大限に活用し、お客様と社会へ貢献していきます。

- ・社員の人間力向上、社員自身の社会貢献活動を推進する。
- ・教育制度導入による早期戦力化の仕組み、オンライン教育等を整備する。
- ・従業員女性比率を約30%から40%へ、女性管理職比率を約19%から30%へ上昇させる。

●財産保全、地域社会においてもパートナーシップを組み貢献していきます。

- ・保育施設・シニア施設の土地活用と建築サポートや病院・クリニックなど公共性、公益性の高い施設の誘致により福祉に貢献する。
- ・財団の設立支援により社会に還元する仕組みづくりで貢献する。
- ・地域創生事業において、パートナー連携（公共団体、金融機関、企業）により、街づくりと地域雇用の創出へ貢献する。

G ガバナンス



●指名委員会、報酬諮問委員会を設置し、取締役の選任解任及び後継者計画（サクセッションプラン）等により当社の適切な経営体制を構築。

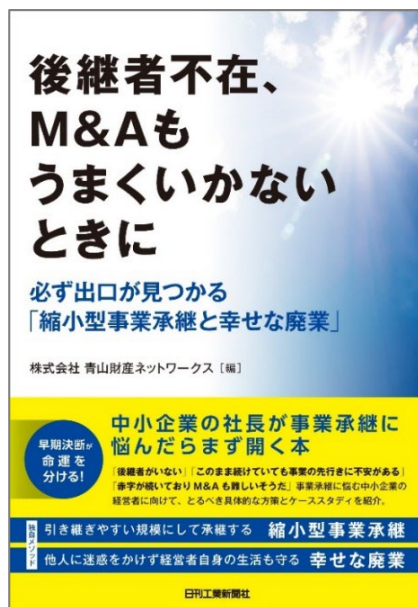
●法令順守の推進のためコンプライアンス委員会や、公正かつ透明性の高い報酬諮問委員会を運営。

書籍3冊の発行

POINT

- 相続・事業承継に関する書籍3冊を発行。
- 書籍と出版セミナーを通じて、新規顧客の獲得をより強化してまいります。

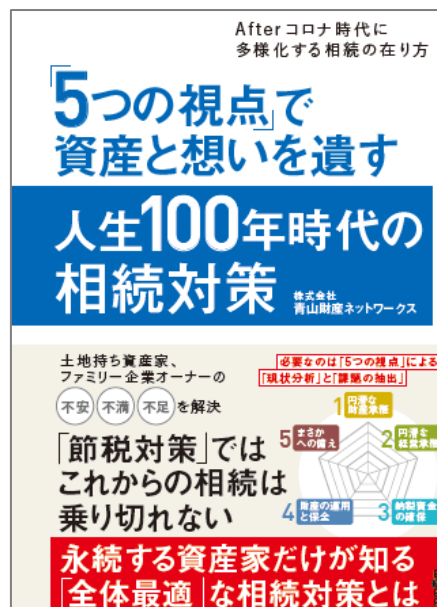
2021年10月30日発売



出版社：日刊工業新聞社
価格：1,500円（税別）

中堅・中小企業の経営者が事業承継に悩んだ時など、事業承継に関して悩みを抱えている経営者に向けて最適な出口を見つけるための考え方と方策、ケーススタディをわかりやすく紹介しております。

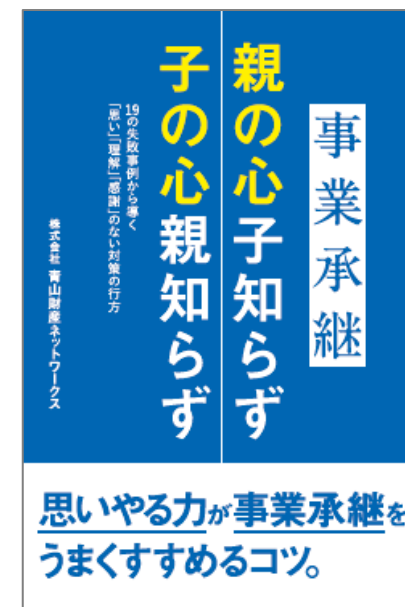
2021年11月11日発売



出版社：日経BP
価格：1,600円（税別）

土地持ち資産家やファミリー企業の経営者が相続や承継に悩んだ際に、「全体最適」という考え方に沿った「5つの視点」で、悩みを解決する「最善の相続対策」を見つける方法を紹介しております。

2022年2月1日発売



出版社：日経BP
価格：1,500円（税別）

ファミリー企業の経営者が相続や承継に悩んだときに・・・。「思い」「理解」「感謝」のない対策による19の失敗事例を通して、事業承継をうまくすすめるためのコツを紹介しております。

セミナーの実施

POINT

- 財産承継・事業承継に関するセミナーを定期的に実施。
- 今後もセミナーを通じて、新規のお客様との接点をより強化してまいります。

特別講演

経験者が本音で語る！ 家業を継ぐこと、手放すこと

2023年3月3日(金) 17:00~18:30

■会場：日刊工業新聞社
セミナールーム

■主催：株式会社
青山財産ネットワークス

■共催：日刊工業新聞社

■聴講者：オーナー経営者様
※1社2名様までとさせていただきます

参加費 **無料**
(事前申込制)

定員：20名
当日参加できない方向けに
後日アーカイブ配信あり
(録画プレゼント)

OWNER'S STYLE 主催
大家さんフェスタ登壇

4月15日(土) 9:30~17:30

A会場 11:30~12:10

財産を守る秘訣は？
これからの相続対策
～財産の手当と心の共有～

講師 相澤 光

E会場 12:40~13:20

「何もしない」が相続対策？！
タイプ別の課題と対策

講師 相澤 光

朝日新聞主催 『不動産投資Day2023』

「“負”動産を相続させない！

家族に感謝される「不動産投資」
～目的を実現させる不動産の選択方法とは？～

【開場】10:30～【閉場】15:30
【講演時間】14:00～14:30

講師
青山財産ネットワークス
財産コンサルタント 相澤 光

日経 相続・事業承継フェア 2023

次世代へ上手く 事業・財産承継 するために必要なこと

会場 /アクセス 飯野ビルディング4階
イイノホール
地下鉄「霞ヶ関駅」直結

開催日程 2023年8月6日
10:00～16:10

代表取締役社長
蓮見 正純

年間600件の相談事例からわかる共通点とは

株式会社 青山財産ネットワークス

相続・事業承継セミナー

失敗しない！
金融資産運用

アドバイザーをつけるという新しい選択肢

2023.08.24 木
10:00~11:30・18:00~19:30

2023.08.25 金
14:00~15:30

講師 相澤 光 大垣 和美

第10回 不動産投資
日経 フェア 2023 東京

条件達成※でもれなく
オリジナルトートバック&書籍
プレゼント!

10月14日 Sat

当社講演
14:50~15:30

会場
ベルサール飯田橋ファースト

財産コンサルタント
相澤 光

オーナーズスタイル主催
賃貸経営+相続対策 大家さんフェスタ

株式会社 青山財産ネットワークス

失敗事例から学ぶ！ 次世代へ財産を承継 するために必要なこと

相続にお悩みの方
不動産の活用法がわからない方
多額の相続税に頭を抱えている方

財産コンサルタント
相澤 光

10月21日(土) 開催 公演時間 11:50~12:30
場所 新宿NSビル

株式会社 青山財産ネットワークス

土地持ち資産家必見！ 高収益不動産 の作り方

セミナー終了後、
無料個別相談会も実施

講師 財産コンサルタント 相澤 光

開催日 11月10日(金) 11月17日(金)

時間 14:00~15:30 (開場: 13:30)

会場 東京 (青山一丁目駅前)

当社のIR情報は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.azn.co.jp/ir>

株式会社青山財産ネットワークス

コーポレートファイナンス本部

TEL 03-6439-5824 FAX 03-6439-5851

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれからの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。